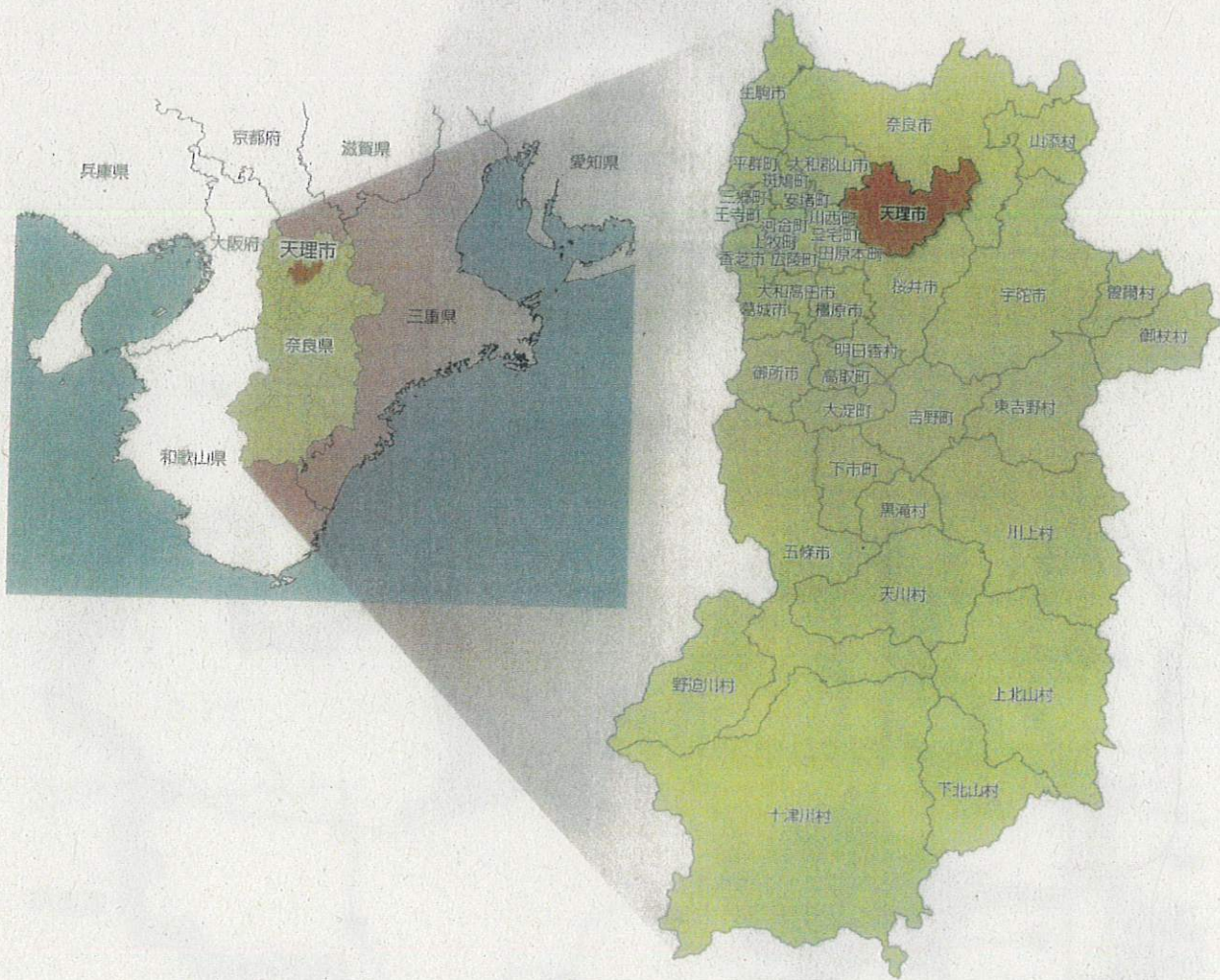


1. 天理市の現状

1.1 天理市の位置

- 天理市は、奈良県北部の大和平野中央東部および大和高原中央西部の一部を占めており、大阪市の中心から30 km圏に位置している。周囲は、北を奈良市と大和郡山市、西を川西町・三宅町・田原本町、南を桜井市、東を奈良市（旧都祁村）に接している。
- 市域の広がりには東西14.9 km、南北10.6 kmにわたり、面積86.42 km²であり、奈良県の総面積3,690.94 km²の2.3%を占めている。

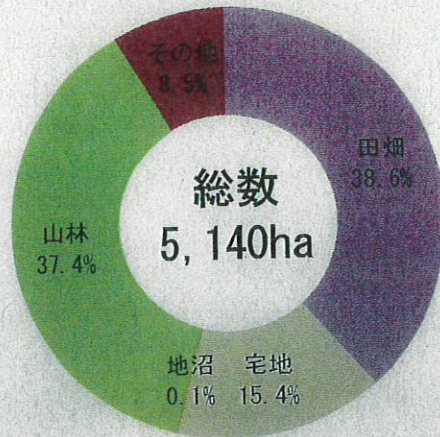


図、天理市の位置図

1.2 地勢・土地利用

○本市の面積は5,140haであり、土地利用区別にみると38.6%が田畑、37.4%が山林、15.4%が宅地となっている。

○都市的形態をなす市街地（DID面積）は1割強で、天理総合駅に結節する鉄道駅周辺及び幹線道路沿いに形成されている。



資料：天理市統計情報

図 土地利用の内訳

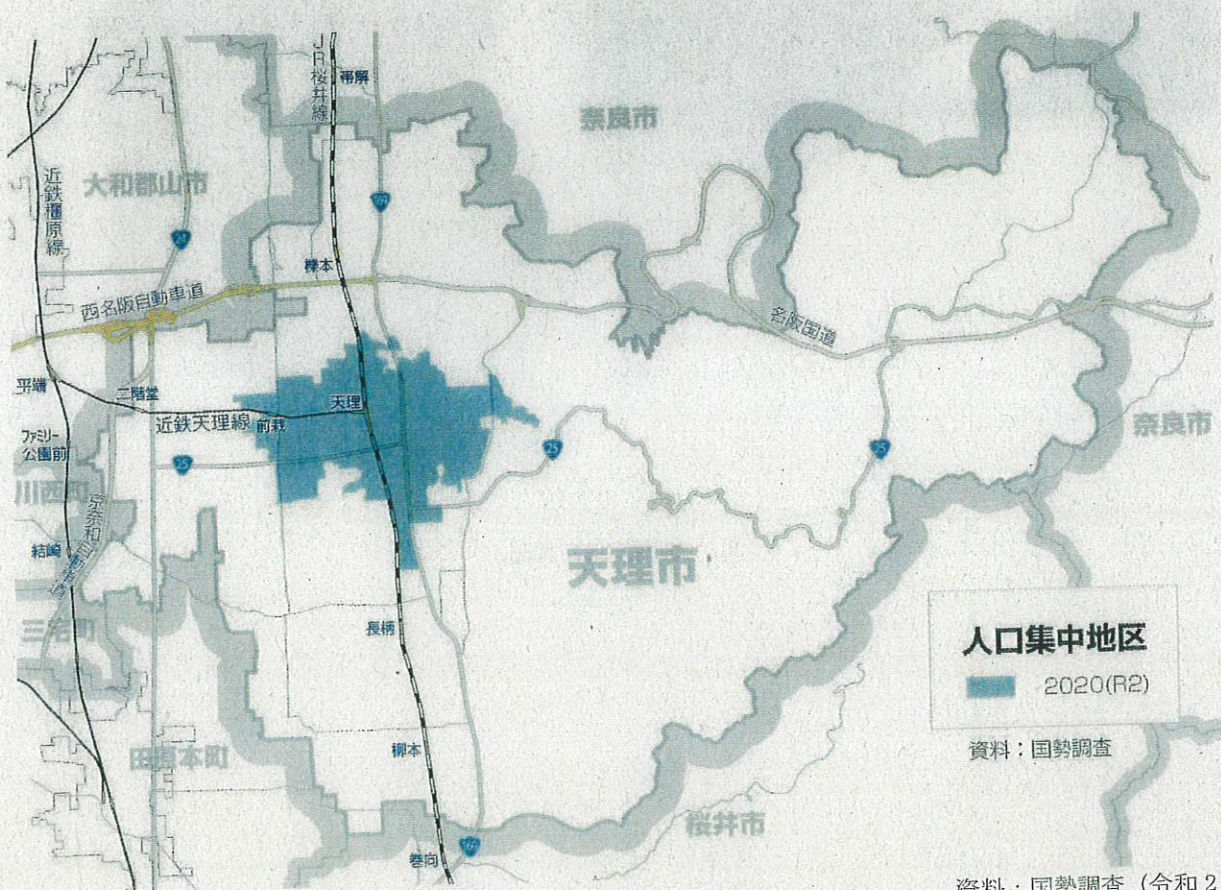


図 人口集中地区（DID）

1.3 都市施設

○市民生活に関わる主要な施設は、天理総合駅の周辺や、国道169号沿線、近鉄天理線沿線に集中して立地している。

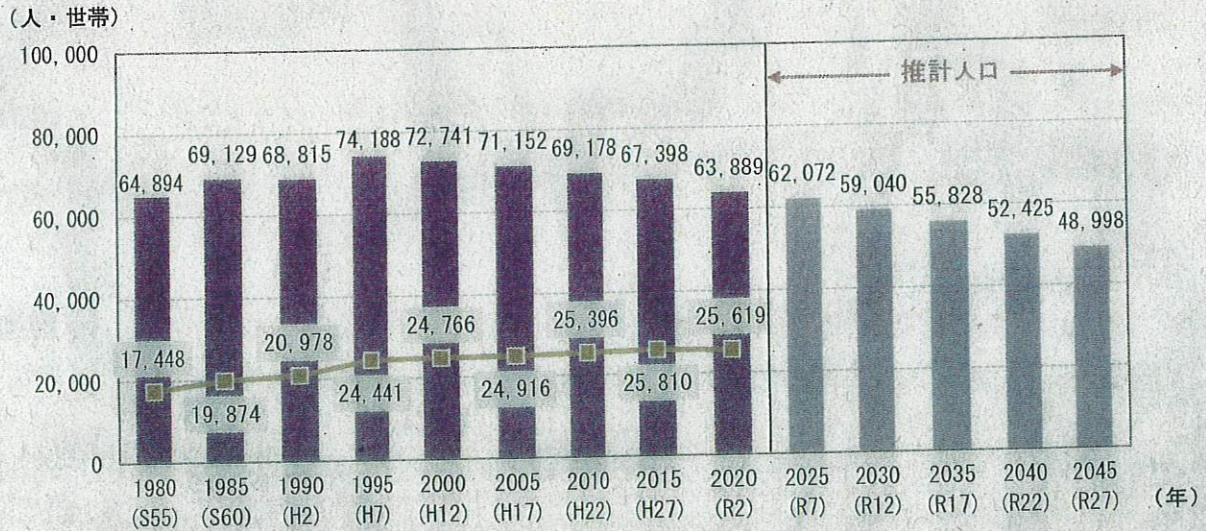


資料：国土数値情報、地域医療情報システム、奈良県公式サイト

図 主な施設の立地状況

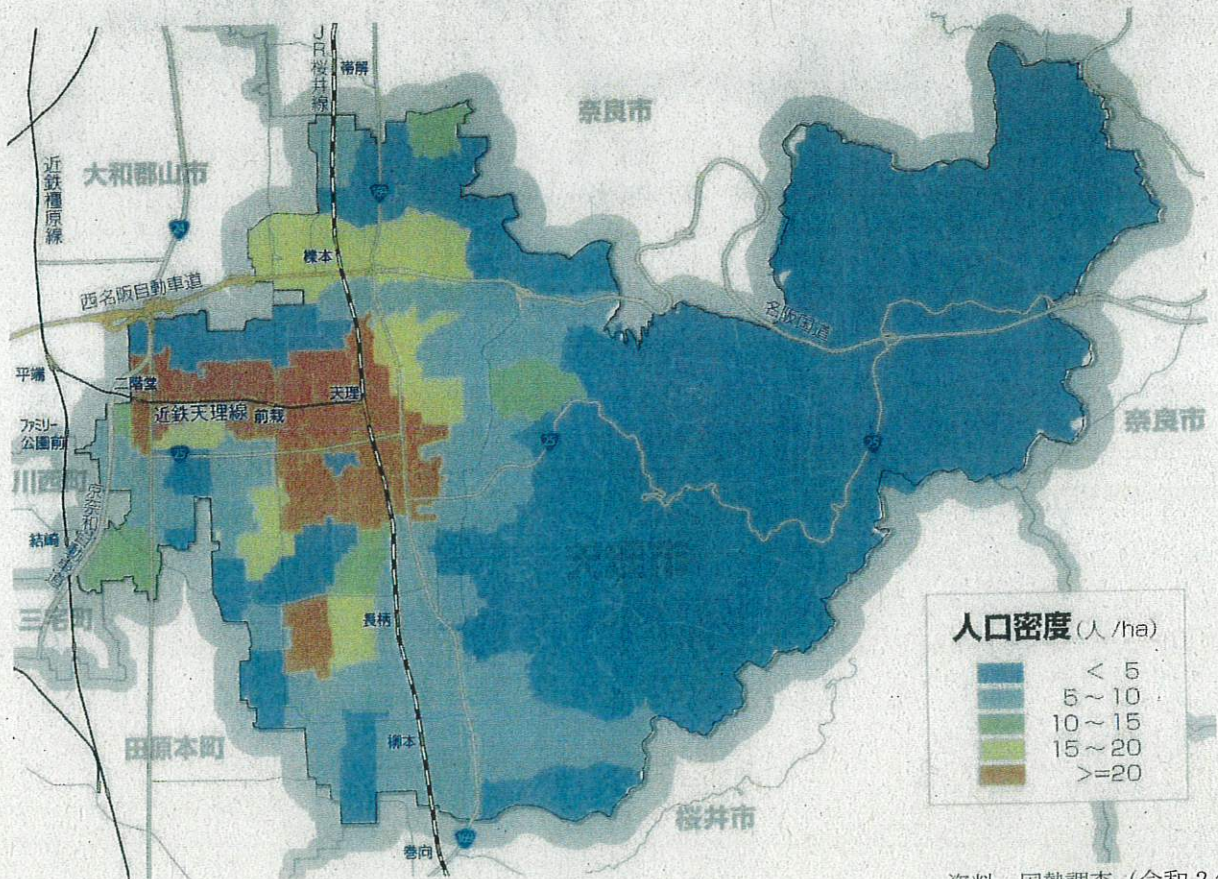
1.4 人口動態・人口密度

- 本市の人口は63,889人(令和2年国勢調査)で、1995年(平成7年)の74,188人をピークに減少しており、今後も減少傾向が継続する見込みである。
- 世帯数は増加傾向にあったが、2010年(平成20年)以降は横ばいの状況が続いている。
- 人口密度は、天理総合駅周辺と近鉄天理線周辺で高く、東部の中山間地域や郊外部では低い。



資料：国勢調査／国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（2018年（平成30年）推計）』

図 人口及び世帯数の推移



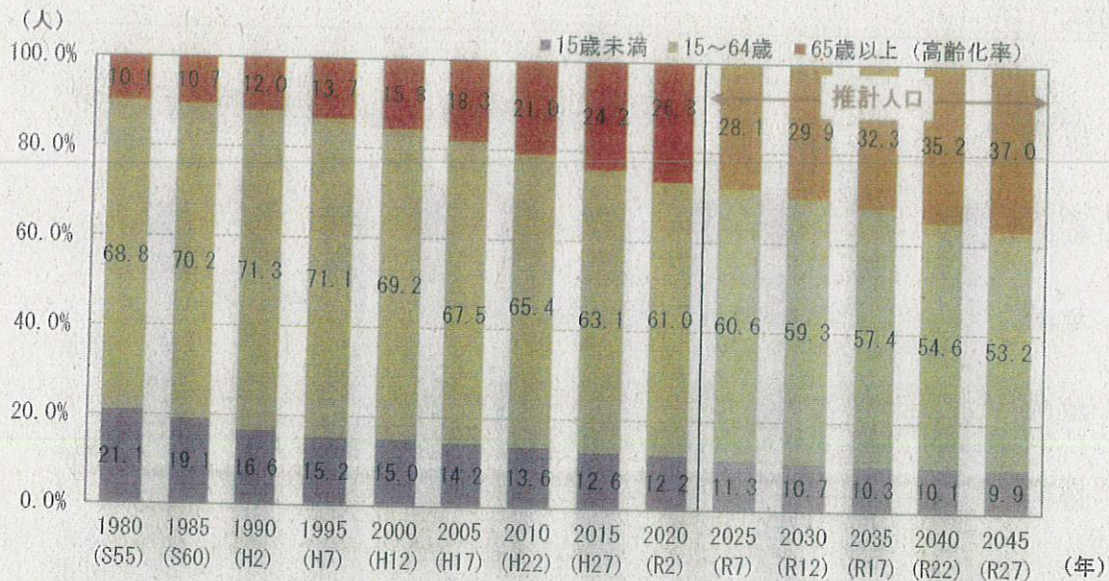
資料：国勢調査（令和2年）

図 町字別人口密度

1.5 高齢化の状況

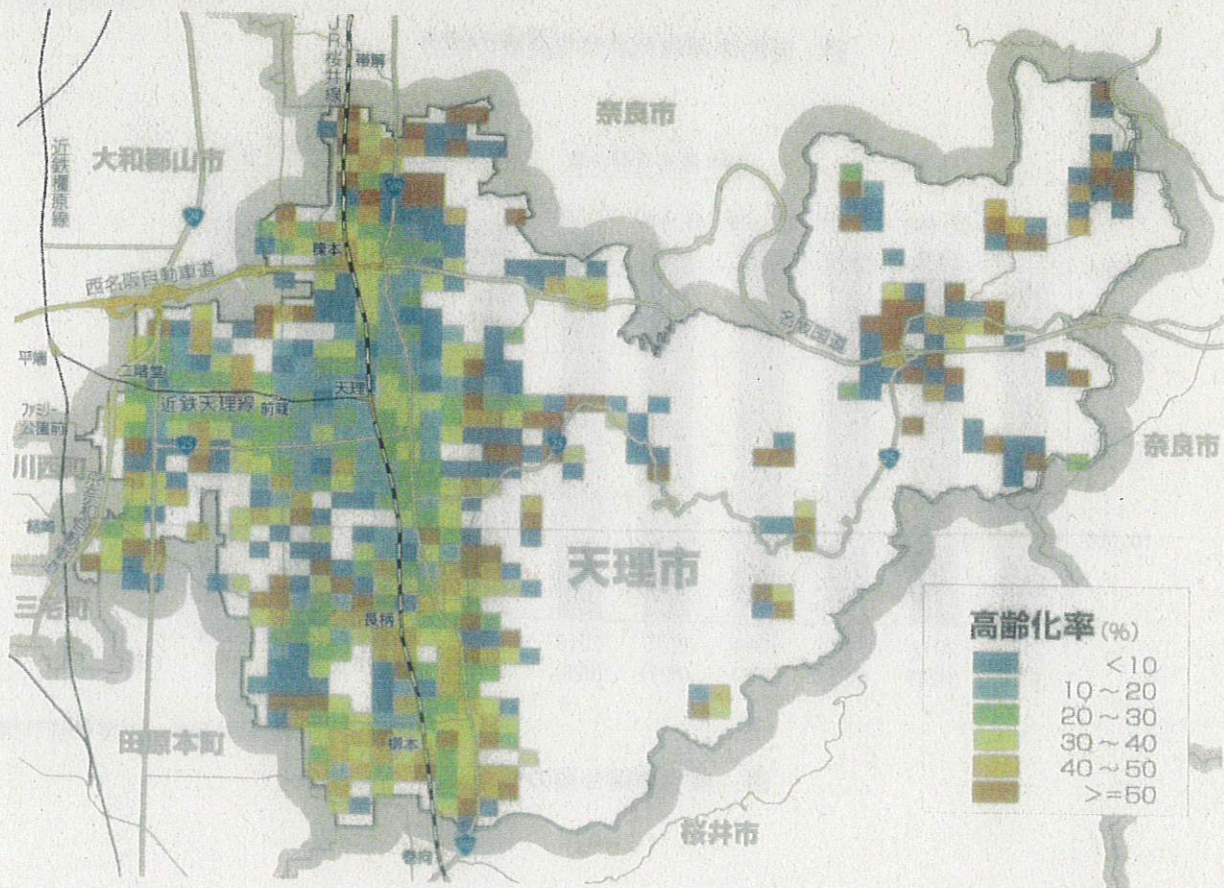
○2020年（令和2年）の高齢化率（65歳以上人口比率）は26.8%となっている。今後も高齢化は進展し、2045年には37.0%に到達と予想されている。

○高齢化率は、東部の中山間地域や郊外部で高くなっている。



資料：国勢調査／国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（2018年（平成30年）推計）』

図. 年齢3区分別人口構成比の推移



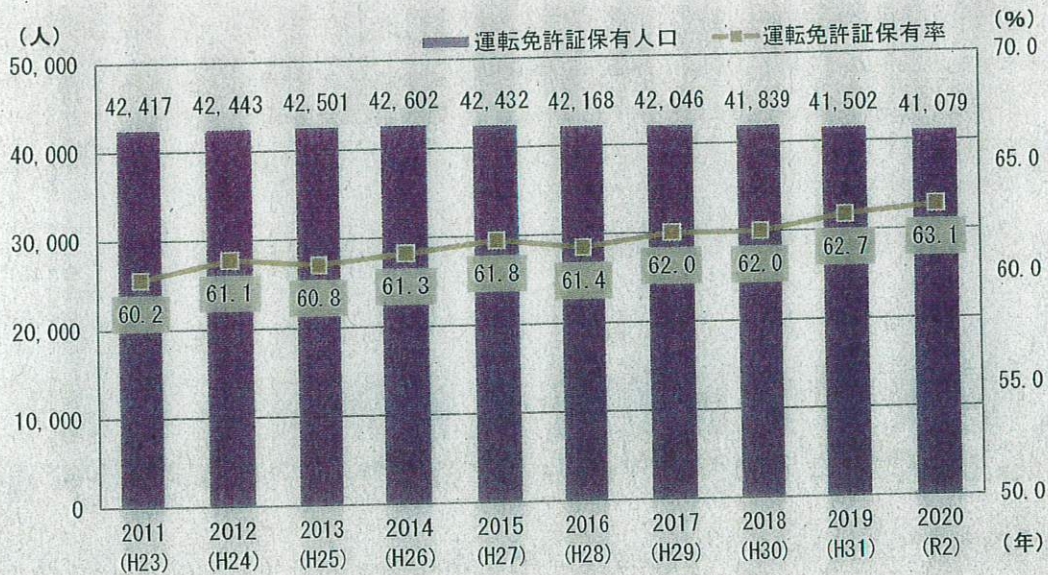
資料：国勢調査（令和2年）

図. 250mメッシュ毎の高齢化率（65歳以上人口比率）

1.6 運転免許証及び自動車の保有状況

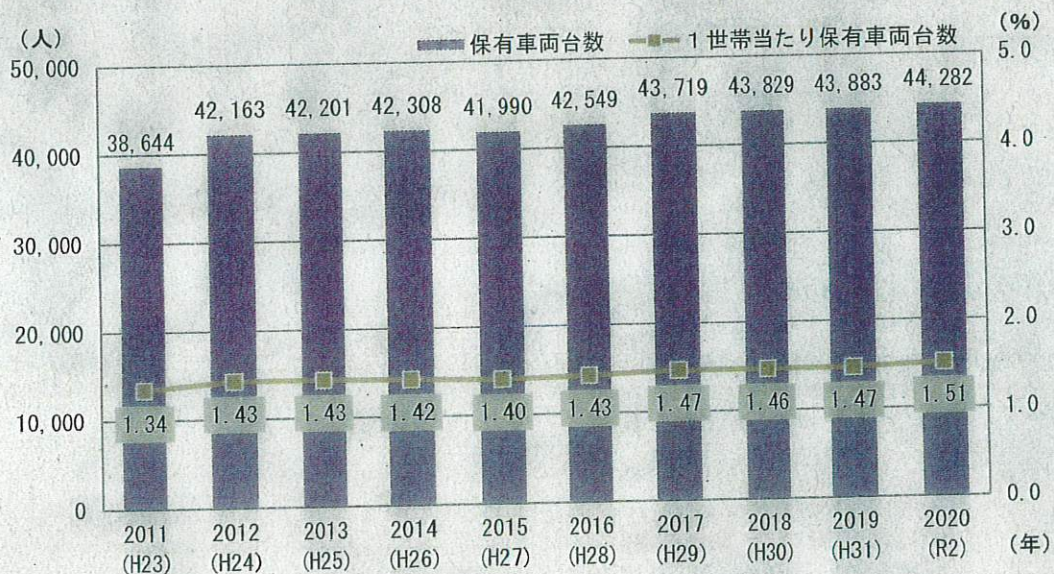
○2020年（令和2年）の市内の自動車運転免許保有者数は41,079人で近年横ばい傾向だが、運転免許証保有率は63.1%と僅かながら増加傾向にある。

○2020年（令和2年）の自動車保有台数は44,282台、1世帯あたりの保有台数は1.51台とやや増加している。



※免許証保有人口及び総人口は12月末現在。
資料：天理市統計情報

図. 自動車運転免許保有者数の推移



資料：天理市統計情報

図. 保有車両台数の推移

1.7 交通事故発生状況

○市内の交通事故発生件数は減少傾向にあり、人口1万人当たりの発生件数をみると、2020年（令和2年）は21.8人となっている。

○その中で、高齢者（65歳以上）事故の全事故件数に占める割合は増加傾向にあり、近年は3割を超えている。（※高齢者事故について、加害と被害の区分は不明）



資料：天理市統計情報、奈良県統計年鑑

図. 天理市における交通事故発生件数の推移



資料：天理市統計情報

図. 天理市における高齢者（65歳以上）の交通事故発生件数等の推移

1.8 観光動向

- 日本最古といわれる「山の辺の道」が通じ、石上神宮、長岳寺、大和神社など由緒ある神社仏閣や大和・柳本古墳群など古代国家発祥の地として、数々の文化財や史跡が散在している。
- 2022年（令和4年）には、文化施設やホテル、道の駅を併設した「なら歴史芸術文化村」がオープンした。
- 本市を含む奈良県東部エリアの観光入込客数は、近年増加傾向にあったが、2020年（令和2年）以降はコロナ禍の影響で減少している。

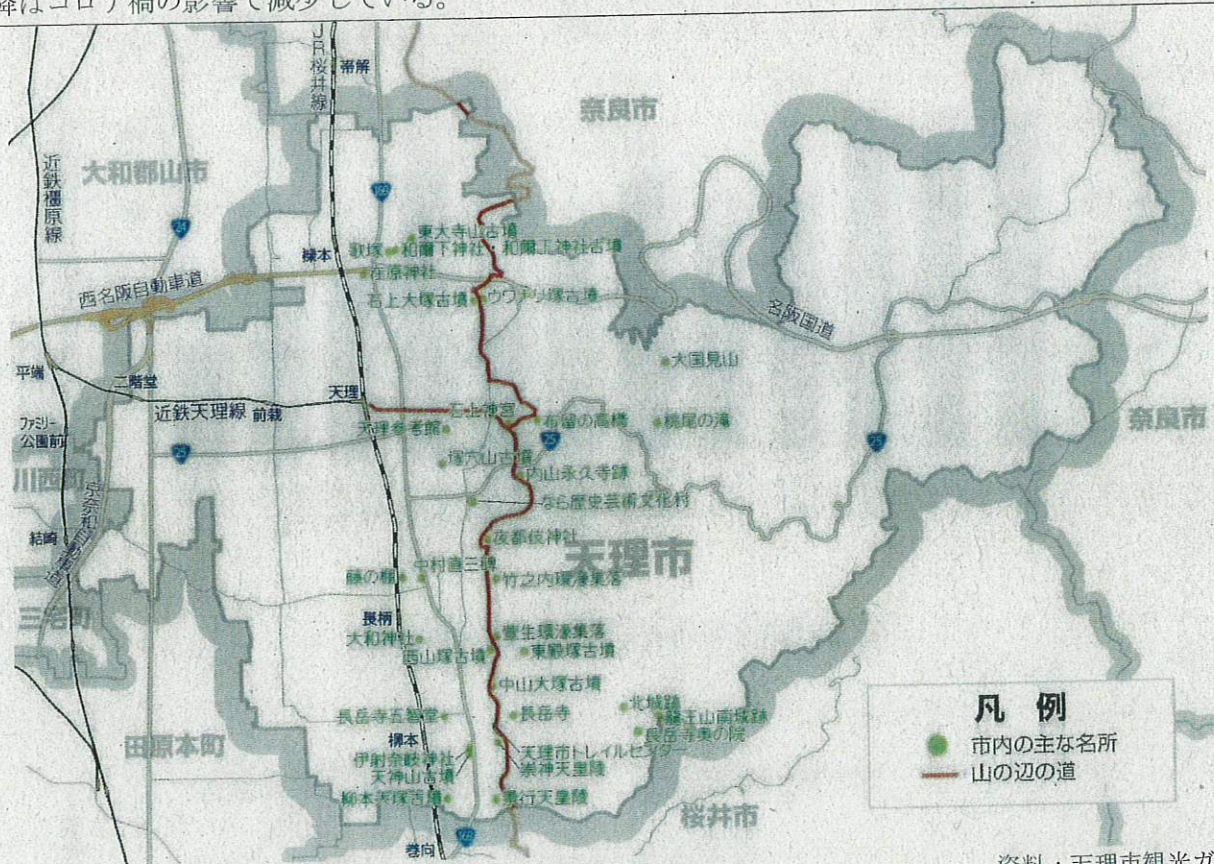
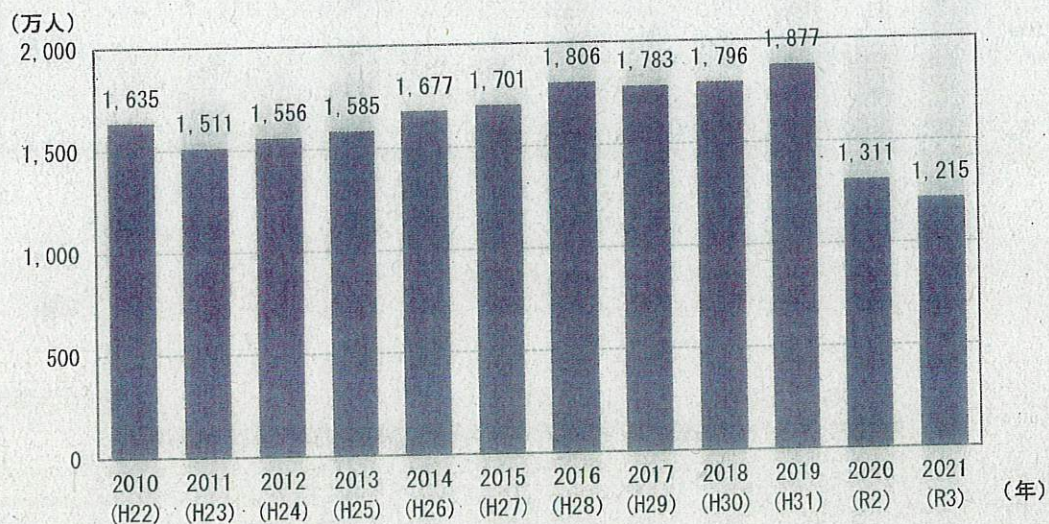


図. 天理市の主な観光資源



*1: 県東部エリアに含まれる市町村：天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村
資料：奈良県観光客動態調査

図. 奈良県観光客動態調査における県東部エリア*1の観光入込客数の推移

1.9 財政基盤の状況

- 歳入に占める市税の割合は減少傾向にある一方で、2020年（令和2年）を除く近年は横ばいの状況が続いている。また、国の社会保障関係費にあたる民生費は増加傾向にある。
- 今後は、人口減少や高齢化の進行により、市税の減少、民生費のさらなる増加が見込まれる。



資料：天理市統計情報

図. 市税の推移



資料：天理市統計情報

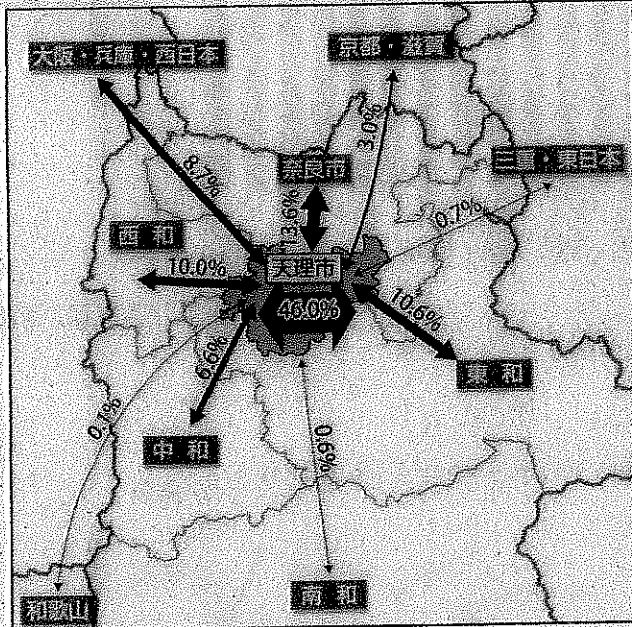
図. 民生費の推移

1.10 日常生活における移動の状況

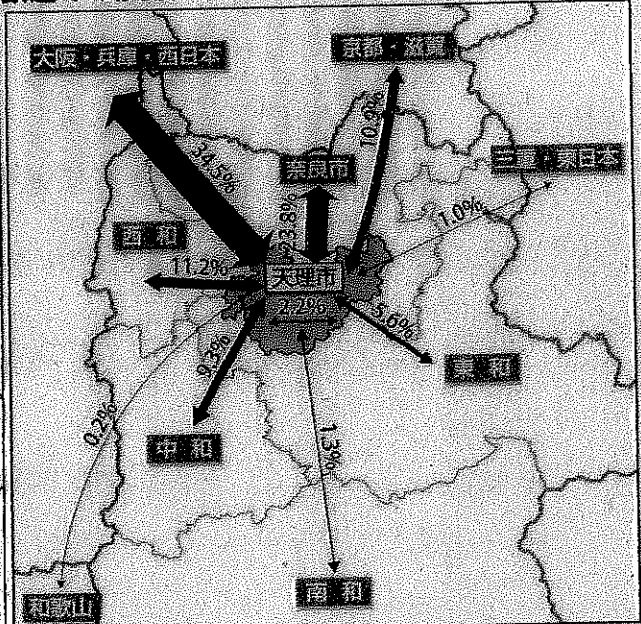
1.10.1 天理市と周辺地域間の移動状況

- 天理市内からの人の動きをみると、市内で完結する移動が最も多く（46.0%）、また市外への移動は、奈良市（13.6%）、東和地域（10.6%）、西和地域（10.0%）の順に多い。
- 鉄道での移動は、大阪・兵庫・西日本（34.5%）、次いで奈良市（23.8%）が多く、天理市内は少ない（2.2%）。
- バスでの移動は、天理市内が最も多く（28.0%）、次いで奈良市が多い（26.8%）。
- 自動車での移動は、天理市内が最も多く（40.2%）、次いで、奈良市、東和地域への移動の順である。

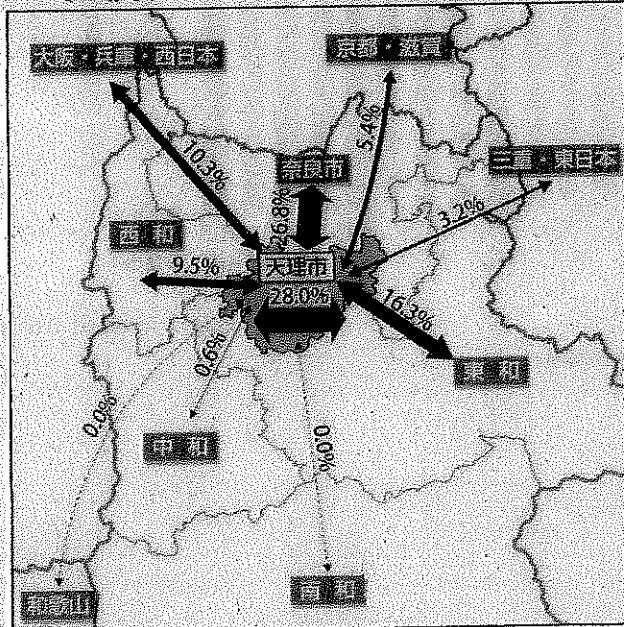
全移動手段計



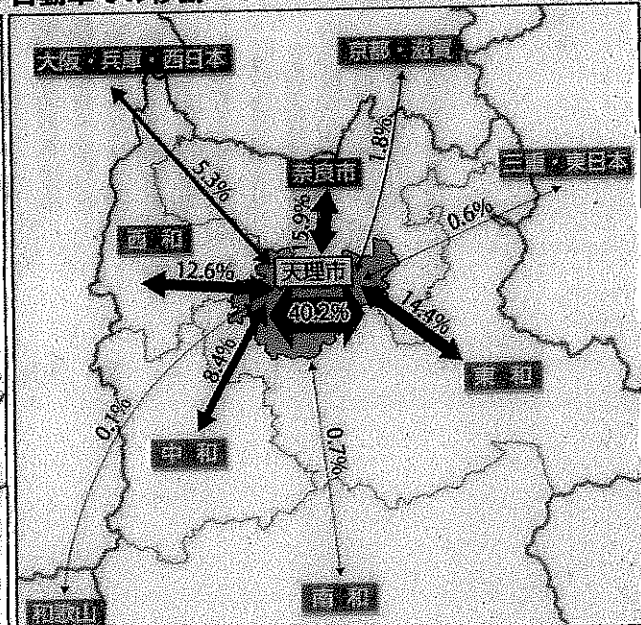
鉄道での移動



バスでの移動



自動車での移動



資料：2010年（平成22年）パーソントリップ調査

図. 地域間移動の状況

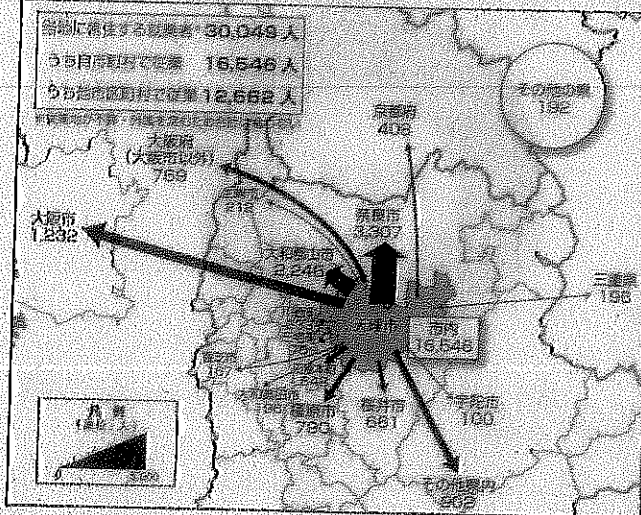
1.10.2 通勤・通学の状況

■通勤

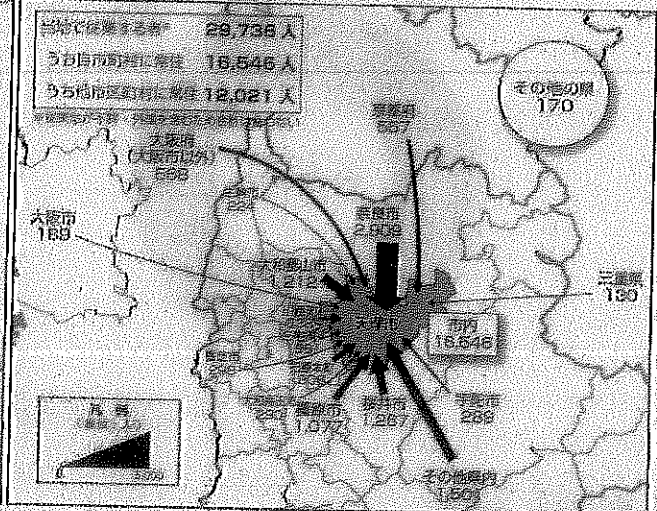
○天理市民で市内に通勤する人は16,546人であり、市外へ通勤する市民は12,662人で、奈良市、大和郡山市のほか、大阪市への通勤が多い。

○市外から通勤する人は12,021人で、奈良市、大和郡山市など県内からの通勤が多い。

本市→市外への通勤



市外→本市への通勤



資料：国勢調査（令和2年）

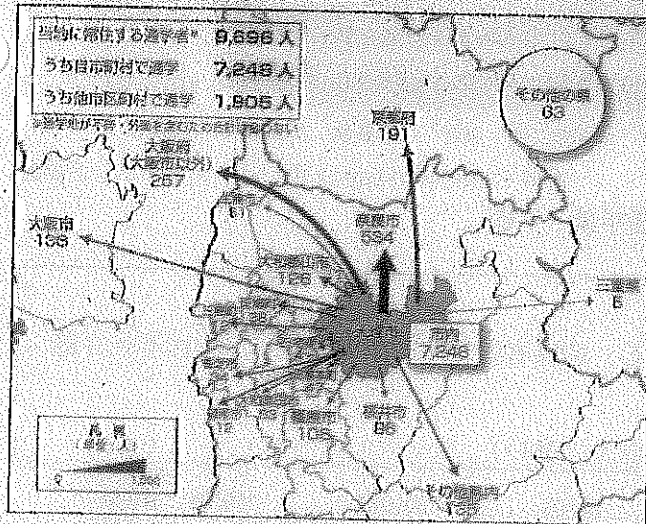
図 天理市の通勤流動

■通学

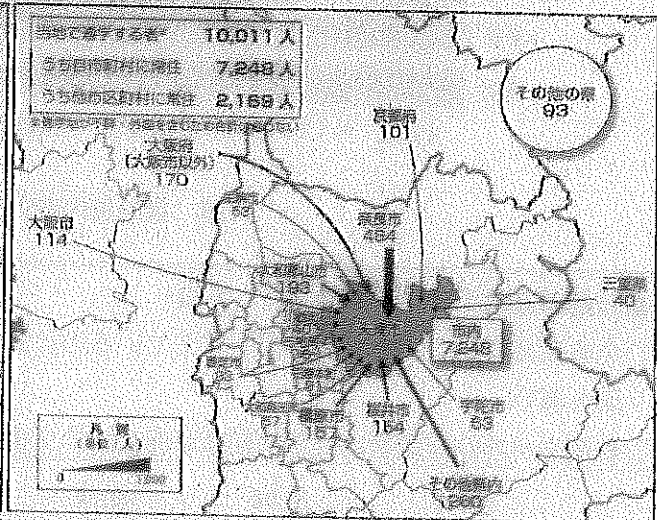
○天理市民で市内に通学する人は7,248人で、市外へ通学する市民は1,905人で、奈良市のほか大阪府、京都府への通学者も多い。

○市外から通学する人は2,169人で、奈良市からの通学者が多い。

本市→市外への通学



市外→本市への通学



資料：国勢調査（令和2年）

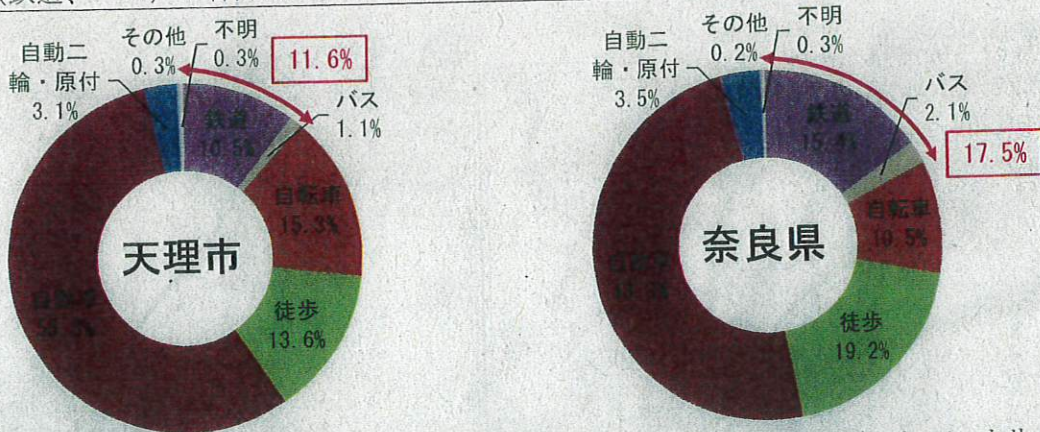
図 天理市の通学流動

1.10.3 交通手段別の移動状況

■全目的（平日）

○本市の代表交通手段をみると、自動車の分担率が55.8%と最も高く、奈良県全体の48.8%より高い。

○公共交通（鉄道、バス）の合計は11.6%で、奈良県全体の17.5%と比べて低い。



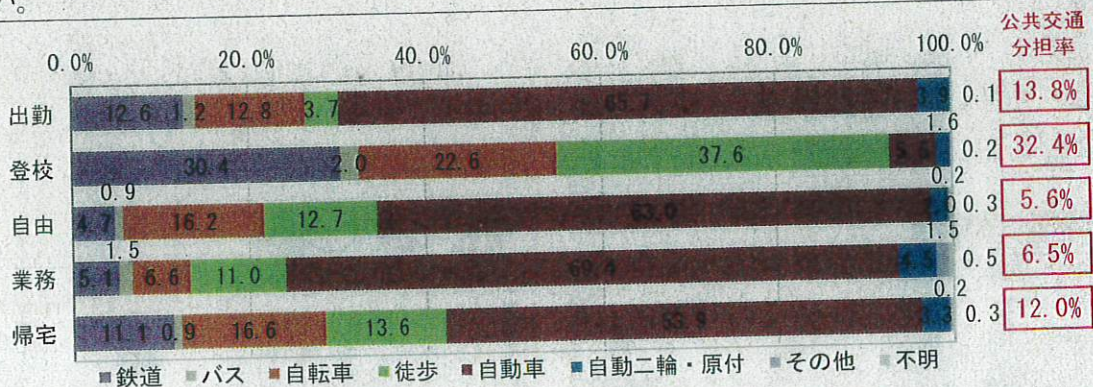
資料：2010年（平成22年）パーソントリップ調査

図. 代表交通手段（平日・全目的）

■目的別（平日）

○登校を除き自動車の分担率が最も多く、通勤、自由、業務では6割を超える。

○公共交通の分担率は、登校では3割を超える一方、自由や業務では鉄道とバスの分担率が1割未満と低い。



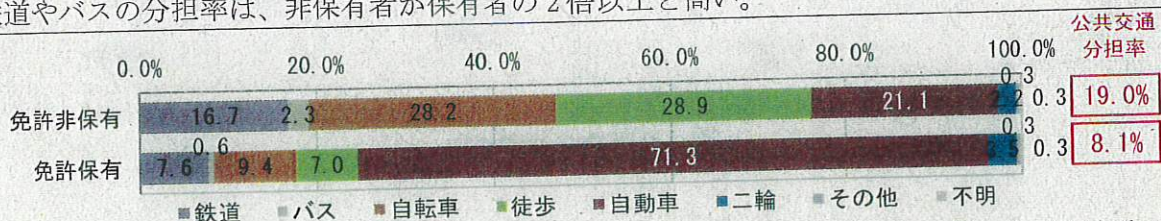
資料：2010年（平成22年）パーソントリップ調査

図 目的別代表交通手段（平日）

■自動車運転免許保有の有無別（平日）

○免許保有者では自動車が7割を超えているのに対し、非保有者では自転車や徒歩がそれぞれ3割弱と高い。

○鉄道やバスの分担率は、非保有者が保有者の2倍以上と高い。



資料：2010年（平成22年）パーソントリップ調査

図 自動車運転免許証保有の有無別の代表交通手段（平日・全目的）

2. 天理市の公共交通の現状

2.1 公共交通体系

- 鉄道は、市の平地部を南北に横断するJR桜井線、天理駅を起終点として東西に走る近鉄天理線、市内に駅はないが市の西部を南北に横断する近鉄橿原線の各鉄道が基幹交通軸を形成し、広域的な大量輸送を担う。
- 路線バスは、奈良交通バスが国道169号及び25号を運行し、近隣市への移動や市内の日常生活での移動を担う。
- コミュニティ交通は、路線バスが運行されない地域において、市のコミュニティバスいちよう号やデマンド型乗り合いタクシーぎんなん号が運行しており、高齢者などの交通弱者の暮らしを支えている。

表. 天理市の公共交通体系

主な機能・役割	種別	運行エリア等
広域的行動を含む 多様な範囲の移動 を支える交通	JR桜井線 (万葉まぼろば線)	周辺市や京都、奈良方面を連絡 市内には櫛本駅、天理駅、長柄駅、柳本駅の4駅が所在
	近鉄天理線	天理駅を始終点として、橿原線と接続 市内には天理駅、前栽駅、二階堂駅の3駅が所在
	近鉄橿原線	結崎駅が市の西端に隣接
	高速バス	リムジンバス(天理駅～伊丹空港) リムジンバス(天理駅～関西国際空港)〈休止中〉 昼行バス(奈良～櫛本) 夜行バス(天理駅～横浜・東京)
	路線バス	天理駅を中心に北・南・東方向に奈良交通の路線バスが運行
主に日常生活圏で の移動を支える交 通及び移動手段	コミュニティバス (いちよう号)	天理駅発着し西部地域を運行する西部線、東部地域を運行する東部線が運行
	デマンド型乗合タクシー (ぎんなん号)	市の中心部と東西南北高原の各エリアを運行区域として、完全予約制で乗合タクシーが運行
	タクシー	複数のタクシー事業者が市内全域で運行
公共交通以外で、市民の生活移動を支える手段		天理市福祉バス 天理市教育委員会バス 施設送迎バス(病院、大学、施設)等

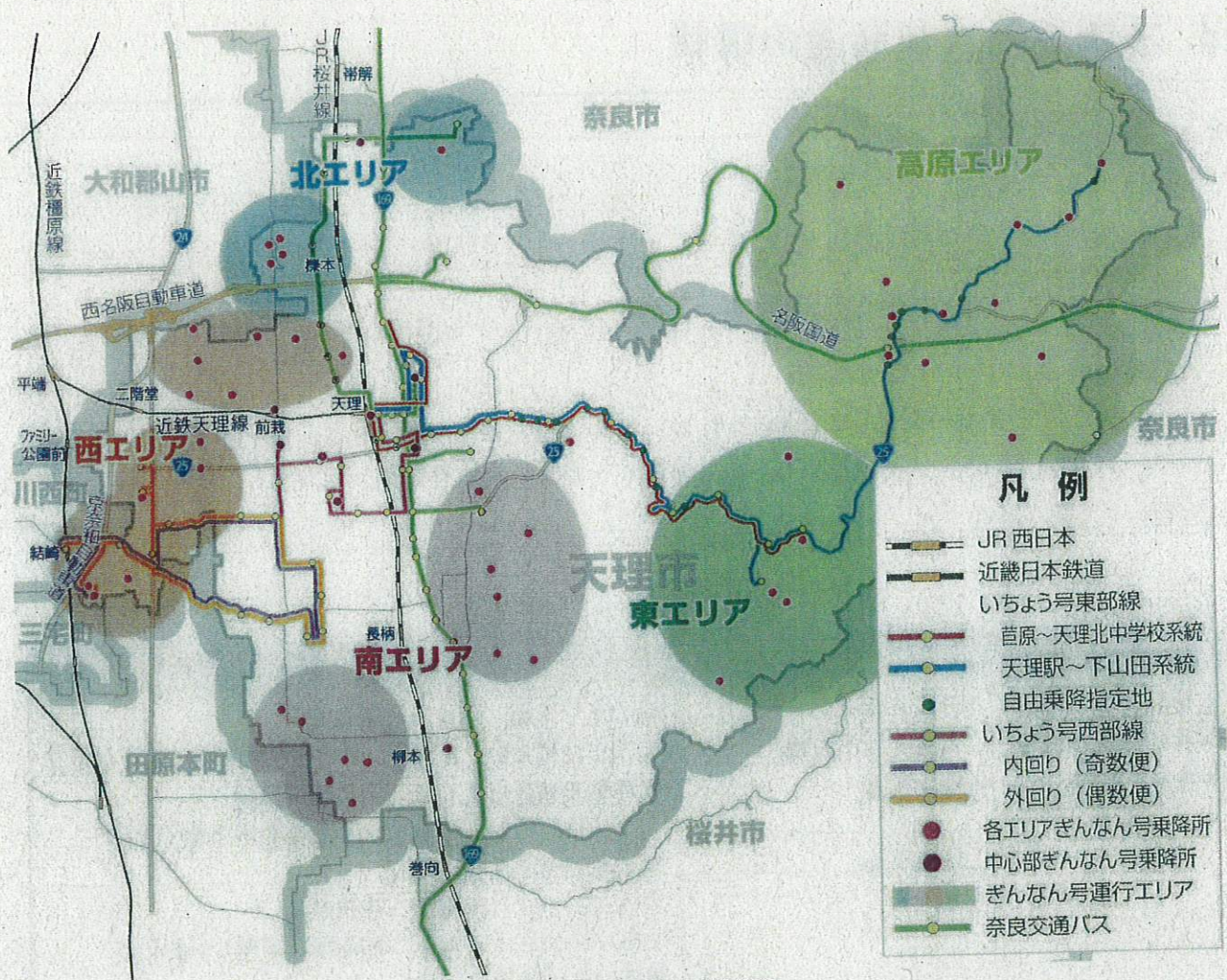
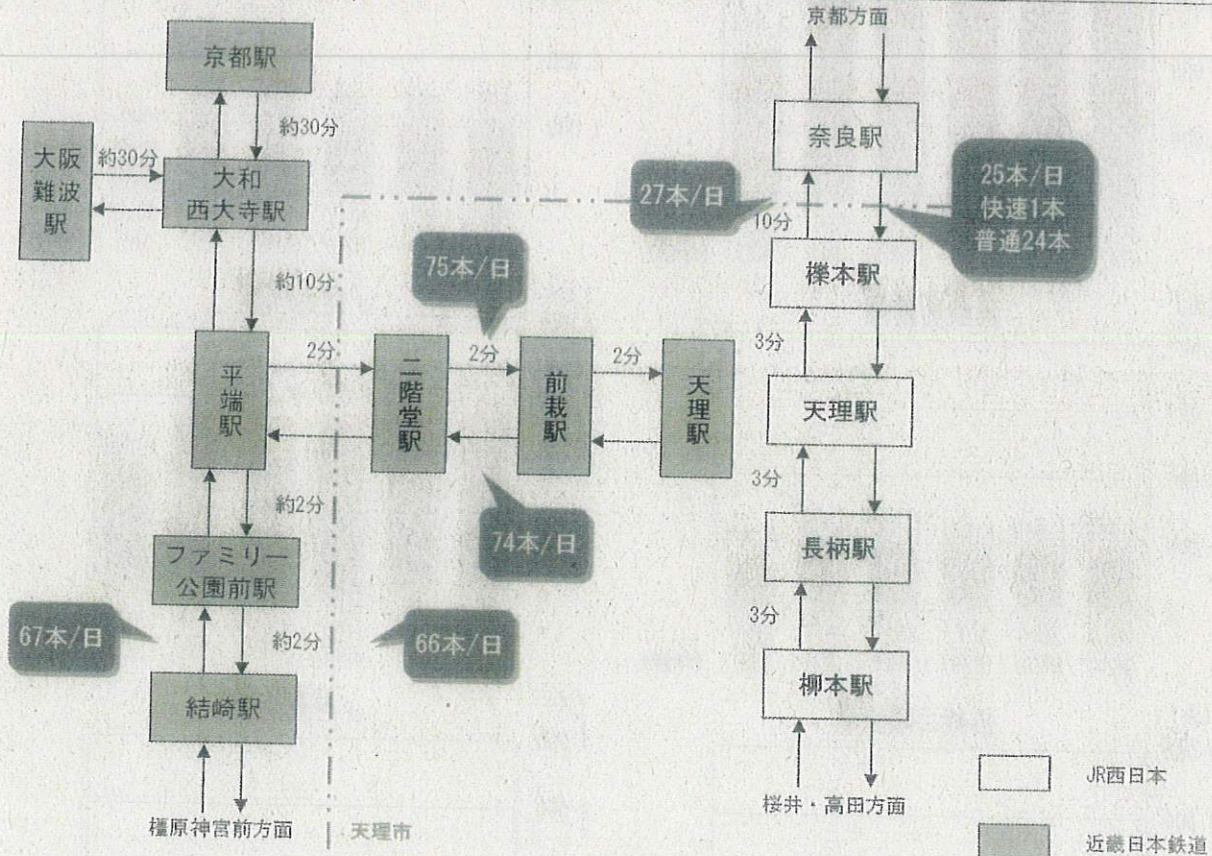


図 天理市の公共交通体系

2.2 鉄道

2.2.1 運行状況

- 市内にはJR 4駅、近鉄3駅の7駅が存在し、天理駅において、JR桜井線と近鉄天理線が接続。
- JR桜井線は、京都、奈良方面との輸送を担っており、1日あたり26本（上下平均）が運行。
- 近鉄天理線は、天理総合駅を起終点として平端駅で近鉄橿原線に接続し、1日あたり74.5本（平日・上下平均）が運行し、平端駅折返し列車のほか、橿原線・京都線への直通列車も運行。
- 市域の西側には近鉄橿原線があり、本市に隣接してファミリー公園前駅や結崎駅がある。

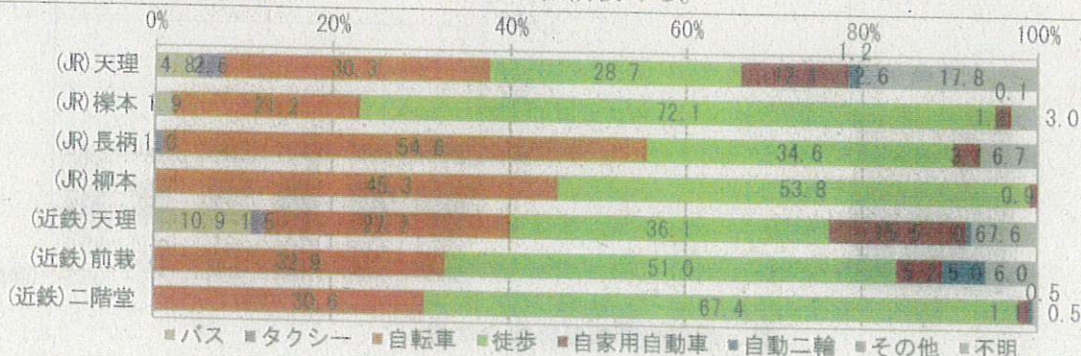


資料：各社時刻表（2023（R5）3.18時点）

図. 天理市に関わる鉄道の運行状況（平日）

2.2.2 駅別の端末交通機関分担率

- JR長柄駅、柳本駅、近鉄二階堂駅では自転車と徒歩の分担率が9割を超えている。
- JR及び近鉄天理駅では、駅前に駐車場が整備されていることから、自家用自動車の割合が1～2割と他の駅に比べ高くなっており、バスも1割前後ある。

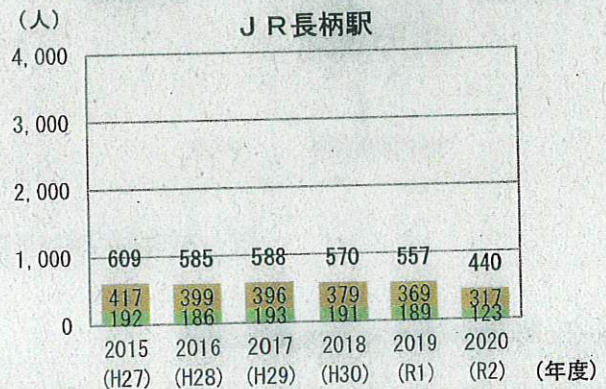
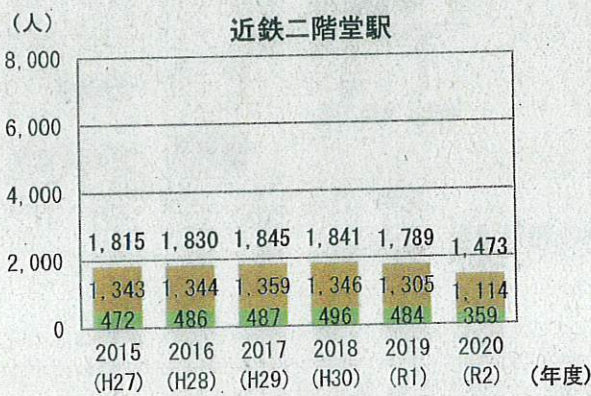
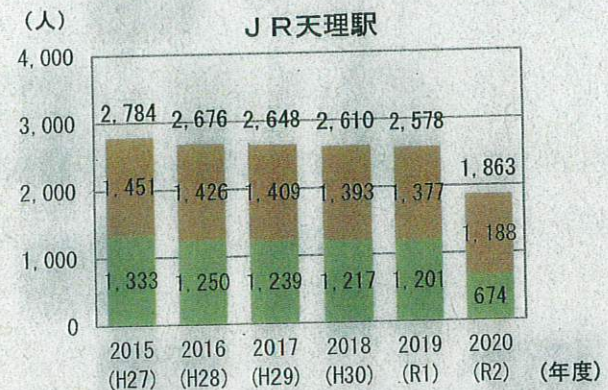
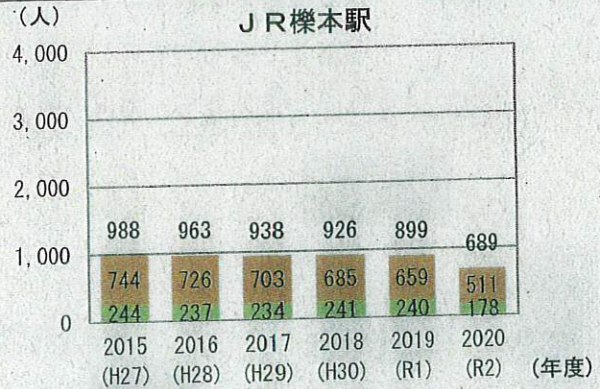
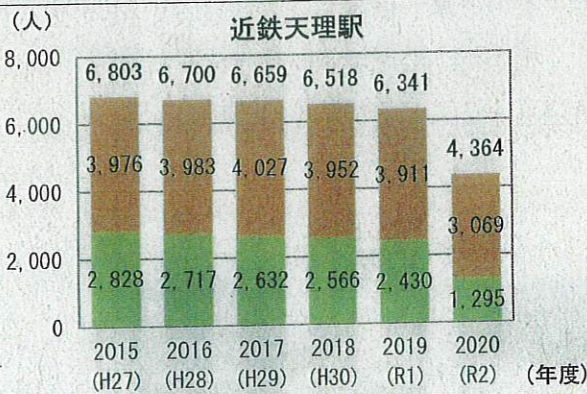


資料：2010年（平成22年）パーソントリップ調査

図 市内の駅別端末交通手段分担率（平日）

2.2.3 駅別の利用状況

○2020年(令和2年)はコロナ禍の影響により、利用者数が前年に比べて減少している。1日あたりの乗客数は、近鉄天理線天理駅が4,364人で最も多く、次いでJR天理駅が1,863人が多い。
○JR樺本駅と近鉄前栽駅は増加から横ばいで推移しているが、他の駅は減少傾向である。



<凡例>

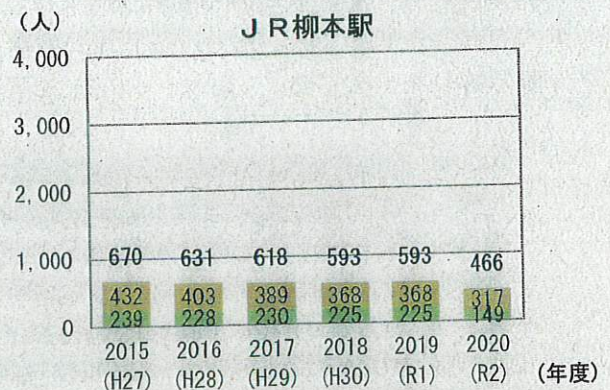
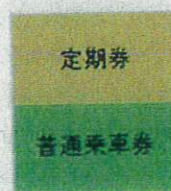


図 市内の駅別乗客数(平日)

2.3 路線バス

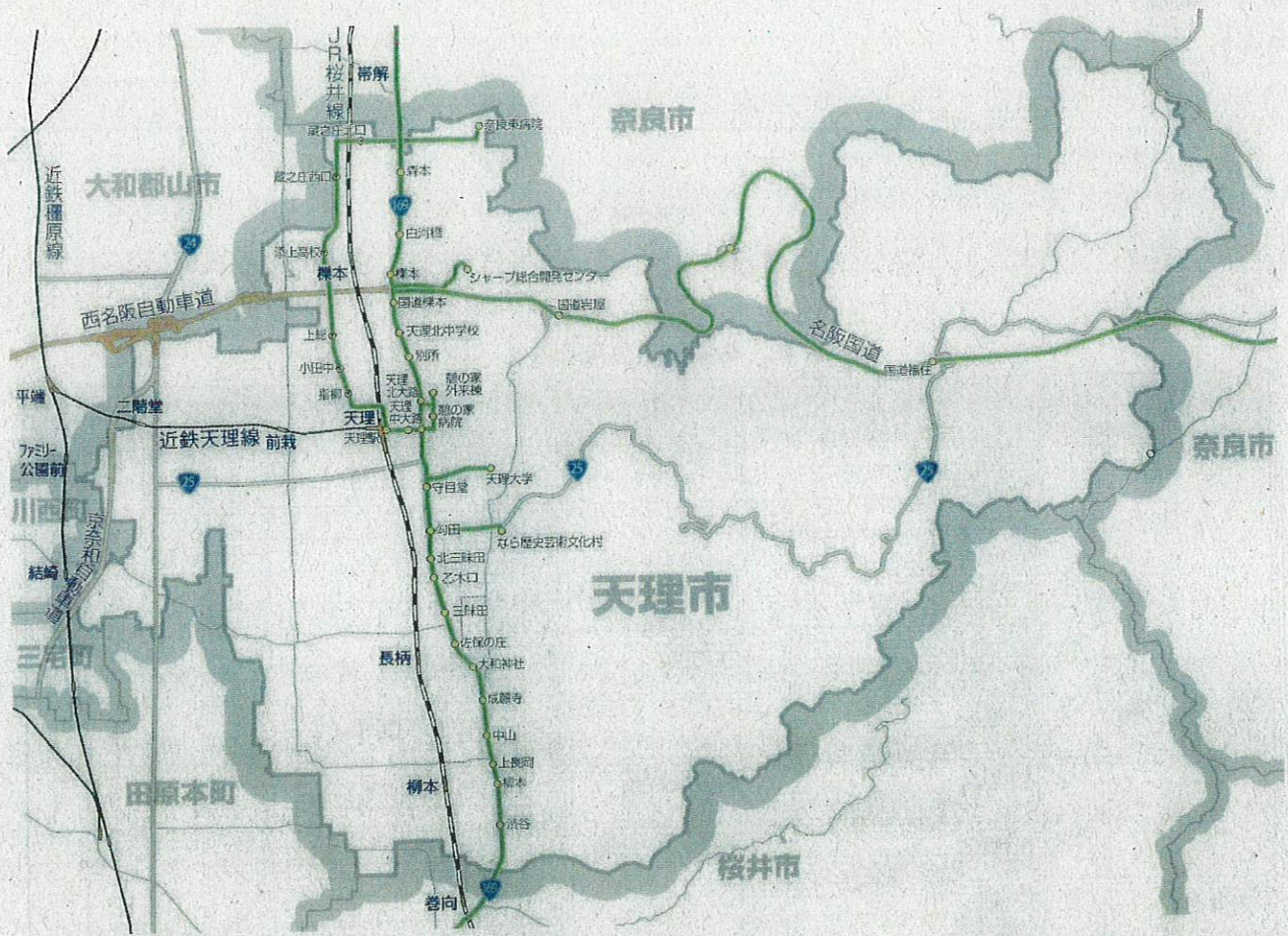
2.3.1 運行状況

- 主に国道169号を經由する南北方向の路線である桜井天理線は、JR桜井線に並行して北は奈良駅、南は桜井駅へ運行している。
- 名阪国道を經由する東方向の路線である天理都祁線は、国道25号針インター等まで運行している。
- 奈良天理線、天理シャープ線は多くの便数がある一方、天理桜井線や天理都祁線の便数は少ない。

表 路線バスの運行状況

路線	系統	始点	経由	終点	平日		休日	
					本数	往復	本数	往復
天理桜井線	61	天理駅	天理大学	桜井駅北口	6	4.5	-	-
		桜井駅北口		天理駅	3		-	
	62	天理駅	-	桜井駅北口	5	4	2	2.5
		桜井駅北口		天理駅	3		3	
	63	天理駅	三輪明神大神神社 三の鳥居前	桜井駅北口	-	-	4	3.5
		桜井駅北口		天理駅	-		3	
	64	桜井駅北口	天理駅	融の家外来棟	4	4.5	-	-
		融の家外来棟		桜井駅北口	5		-	
天理シャープ線	52	天理駅	-	シャープ総合開発センター	9	10	3	3
		シャープ総合開発センター		天理駅	11		3	
	55	天理駅	融の家病院	シャープ総合開発センター	-	-	4	4
		シャープ総合開発センター		天理駅	-		4	
	65	天理駅	融の家外来棟	シャープ総合開発センター	7	7	-	-
		シャープ総合開発センター		天理駅	7		-	
天理市内線	文	天理駅	-	天理大学	6	5.5	-	-
		天理大学		天理駅	5		-	
天理都祁線	18	天理駅	-	針インター	1	2	-	1
		針インター		天理駅	3		1	
	21	天理駅	針インター	山辺高校	4	4	4	3
		山辺高校		天理駅	4		2	
奈良天理線	50	天理駅	-	JR奈良駅	7	7	4	5
		JR奈良駅		天理駅	7		6	
	82	天理駅	融の家病院	JR奈良駅	4	3	14	13.5
		JR奈良駅		天理駅	2		13	
	92	天理駅	融の家外来棟	JR奈良駅	12	13	0	0
		JR奈良駅		天理駅	14		0	
	182	天理駅	奈良東病院	JR奈良駅	0	0	1	1
		JR奈良駅		天理駅	0		1	
	192	天理駅	融の家病院・外来棟 奈良東病院	JR奈良駅	1	1	0	0
		JR奈良駅		天理駅	1		0	
直行便	直	天理駅	-	なら歴史芸術文化村	7	7	7	7
		なら歴史芸術文化村		天理駅	7		7	

出典：奈良交通HP（2023年4月1日改正）

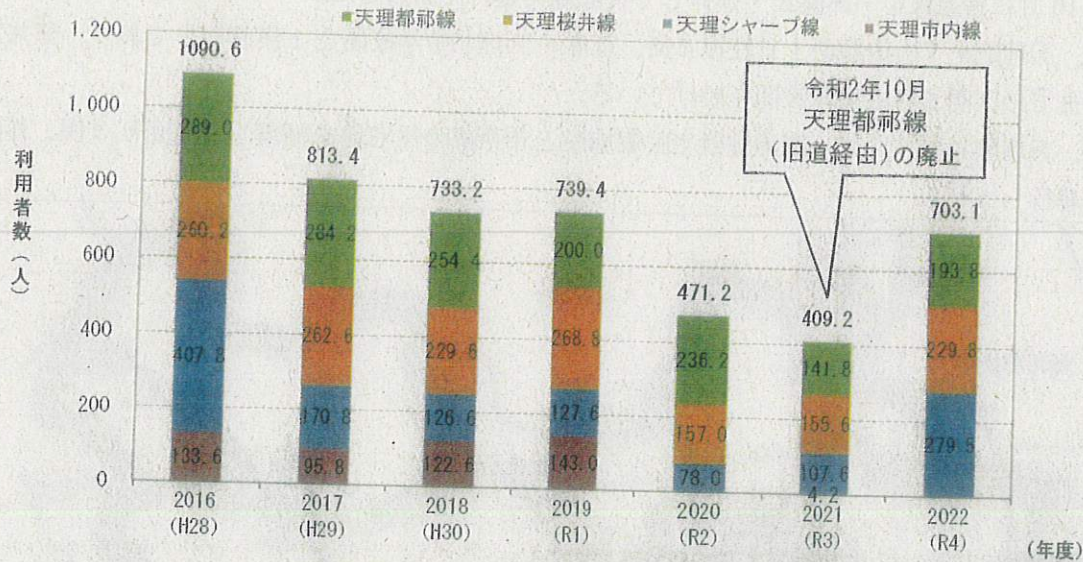


出典：奈良交通HP

図 奈良交通バスの路線図

2.3.2 利用状況

○利用者数は減少傾向にあるが、2022 (R4) 年は路線別にみると天理シャープ線が増加している。



※2018年(平成28年)～2022年(令和4年)の6月の平日における1日平均利用者数
資料: 天理市資料

図 路線別利用者数

表 市内を運行するバスの状況

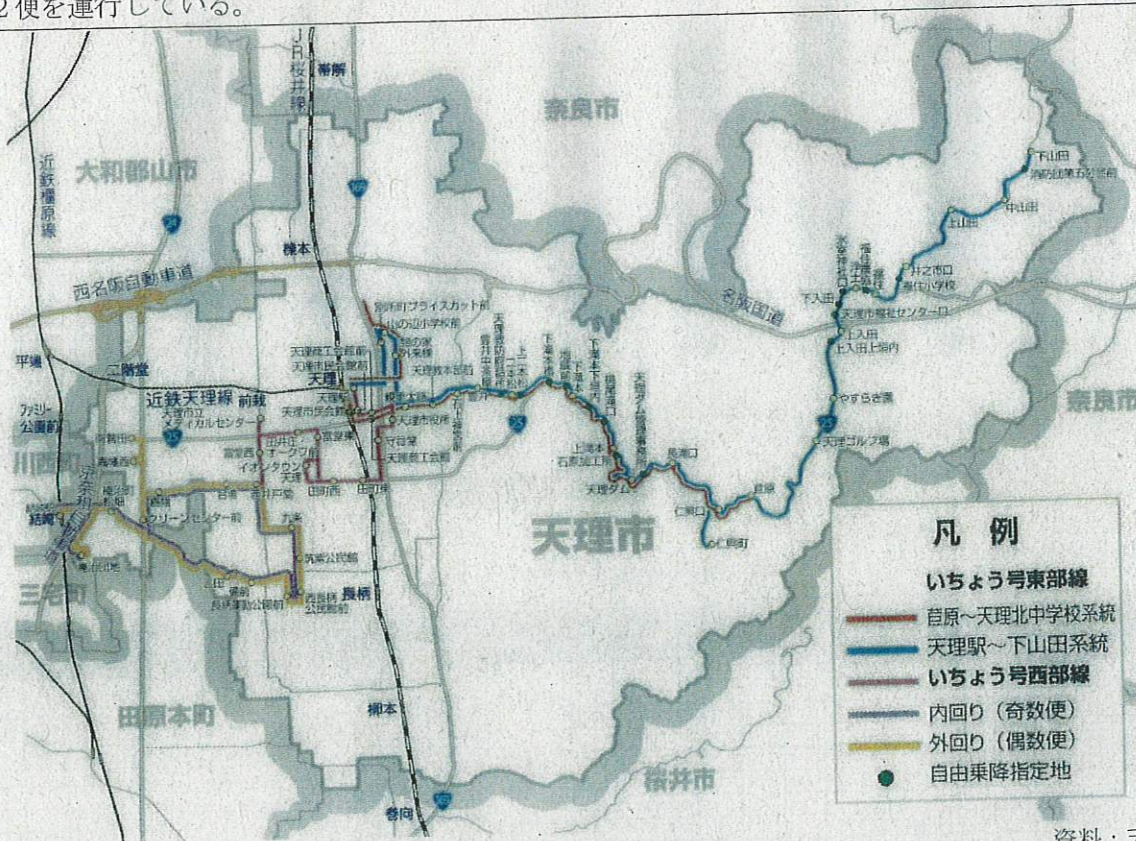
路線	区間	便数			1便あたり利用者数			運行範囲	路線の特性 主な利用特性	県の 協議対象	補助金		
		上り	下り	計	上り	下り	計				国	県	市
天理都祁線	天理駅-針インター	3	1	4	8.5	9.2	8.7	広域路線	天理市街部～東部中山間地域の生活交通	○	○	○	
	天理駅-山辺高校	4	4	8	8.1	11.8	10.0		山辺高校への通学	○	○	○	
天理桜井線	天理駅-桜井駅北口	6	5	11	16.5	26.2	20.9	市内完結 路線	通勤・通学、沿線の生活交通	○	○	○	
天理市内線	天理駅-天理大学	5	6	11	0.0	0.0	0.0		天理大学への通学	○	○	○	
天理シャープ線	天理駅-豊の家外来棟	8	8	16	2.6	3.3	2.9	市内完結 路線	豊の家外来棟への通院				
	天理駅-シャープ総合開発センター	18	16	34	4.7	9.3	6.8		シャープへの通勤				
天理奈良線	天理駅-JR奈良駅	24	24	48	50.7	51.3	51.0	広域路線	通勤・通学、沿線の生活交通				
	JR奈良駅-シャープ総合開発センター	1	1	2	-	-	-		シャープへの通勤				
直行便	天理駅-なら歴史芸術文化村	7	7	14	-	-	-	市内完結 路線	なら芸術文化村への観光				

資料: 天理市資料
※上り: 天理駅着、下り: 天理駅発 (天理奈良線シャープ系統の場合は、上り: シャープ着、下り: シャープ発)
※天理奈良線は2021 (R3) 年11月、それ以外の路線は2022 (R4) 年6月時点

2.4 コミュニティバス「いちよう号」

2.4.1 運行状況

- 令和2年10月に苜原線を一部廃止・延伸して東部線の運行を開始した。
- 東部線は、天理駅・下山田間を1日往復4便、苜原・天理北中学校間を1便運行しており、豊井から下山田までの区間で自由乗降区間を設けている。
- 西部線は、天理駅を起終点に、商業施設や医療施設と市西部の住宅地を循環し、内回り3便、外回り2便を運行している。



資料：天理市HP

図 コミュニティバスの運行ルート

表 運行の概要

	西部線	東部線
運休日	月曜日～金曜日 ※土日祝および12/29～1/3は運休	毎日運行 ※年末年始(12/29～1/3)は運休 ※苜原発天理北中学校行きは平日のみ運行
運賃	1乗車100円(小学生は50円)	天理駅～苜原間、苜原～下山田間： 1乗車190円(小学生は100円) 苜原をまたがる区間： 1乗車300円(小学生は150円)
回数券販売	バス車内および奈良交通天理案内所	奈良交通天理案内所
運行本数	内回り：3便 外回り：2便	天理～下山田系統：往復4便 苜原～天理北中学校系統：1便
所要時間	内回り：93分 外回り：105分	天理～下山田系統：62分 苜原～天理北中学校系統：37分
車両	ノンステップ型車両	マイクロバス ※苜原発天理北中学校行きは大型バス
乗車定員	29名(座席数14)	22名(座席数10)
運行事業者	奈良交通株式会社	奈良交通株式会社

表 運行状況

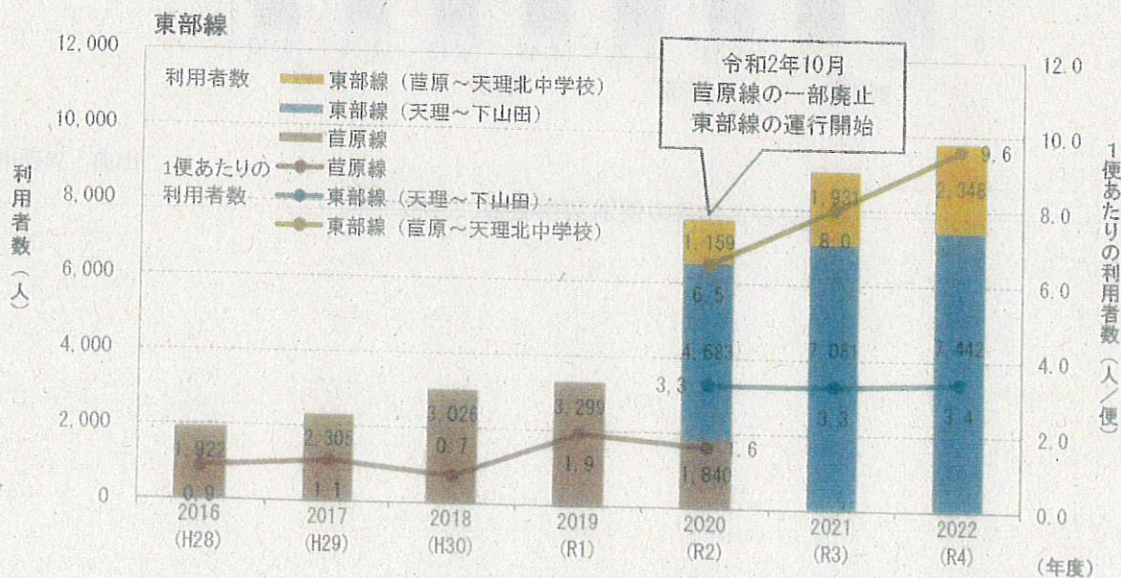
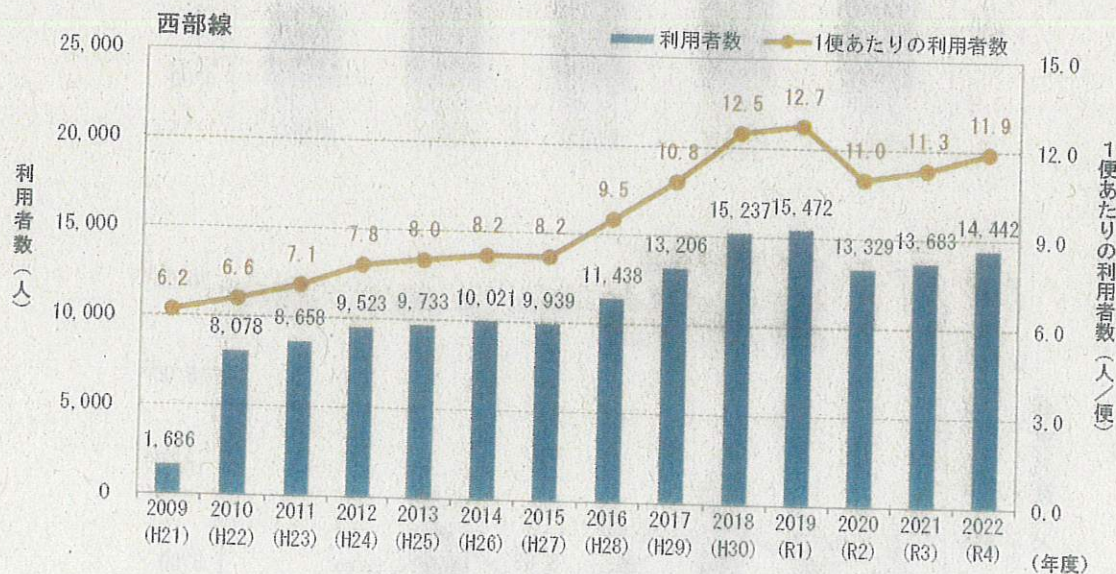
路線	系統	始点	終点	平日		休日	
				本数	往復	本数	往復
東部線	苜原～天理北中学校系統	苜原	天理北中学校	1	0.5	-	-
	天理駅～下山田系統	天理駅	下山田	4	8	4	8
		下山田	天理駅	4			
西部線	内回り	天理駅	天理駅	3	-	-	-
	外回り	天理駅	天理駅	2	-	-	-

資料：天理市HP

2.4.2 利用状況

■全体

- 西部線は、コロナ禍の影響により令和2年に利用者が減少したものの、その後は増加傾向にある。
- 東部線は、令和2年の運行開始以来、利用者が増加傾向にある。

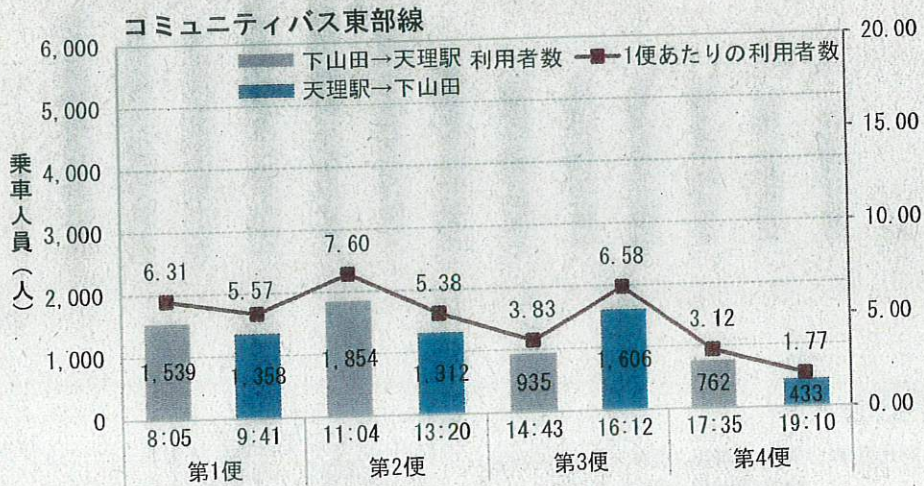
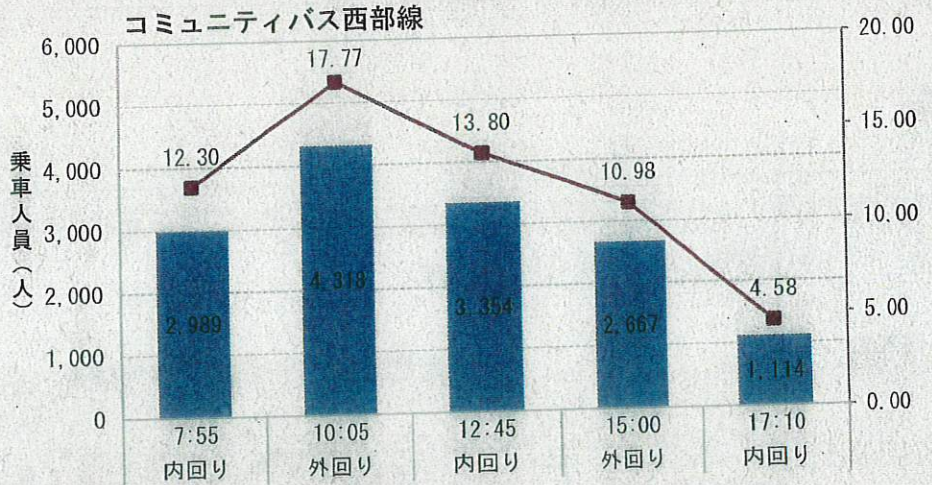


資料：天理市資料

図 いちちょう号の利用者数の推移

■便別

○東部線では、第2便天理駅行きの利用が1,854人と最も多く、第4便の利用が最も少ない。
 ○西部線では、第2便が最も多く1便当たり17.77人、次いで第3便、第1便がとなっており、第5便の利用は最も少ない。



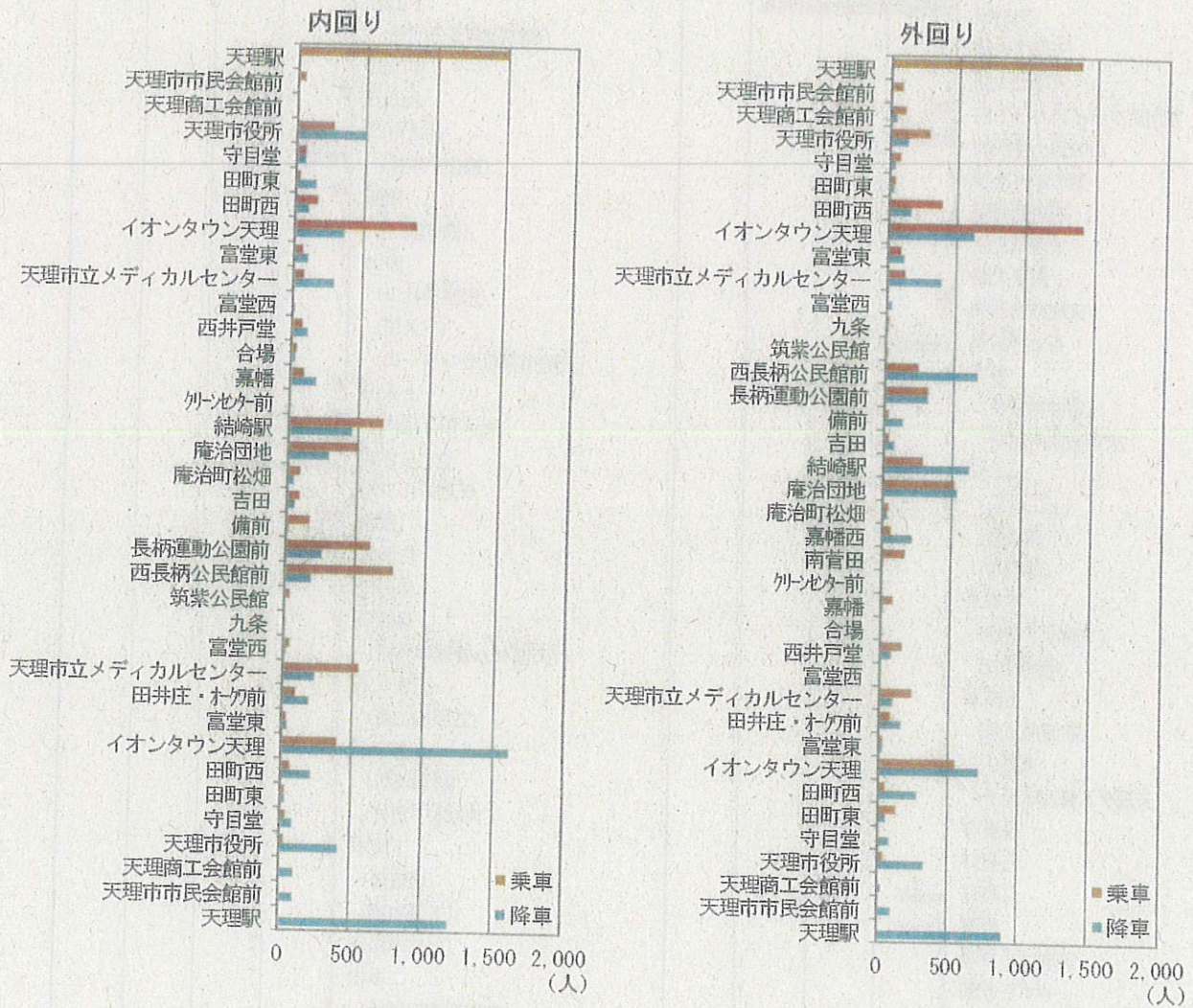
出典：天理市資料

図 いちよう号の便別利用者数 (令和4年)

■停留所別

西部線

○イオンタウン天理、天理駅の利用が多い一方で、ほとんど乗降がない停留所も存在する。

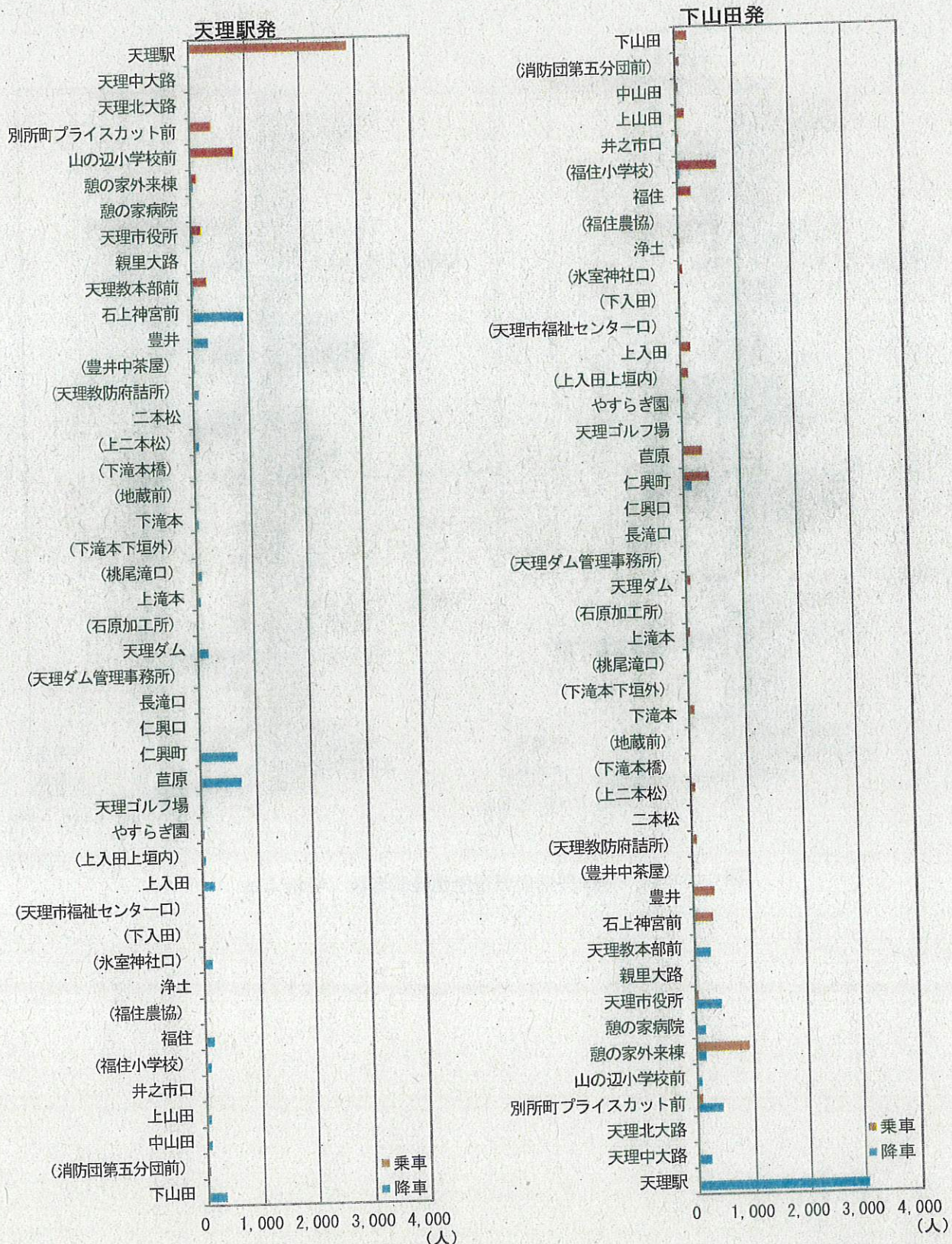


資料：天理市資料

図 一 ちよう号西部線の停留所別乗降者数 (令和 4 年)

東部線

○天理駅の利用が多い一方で、ほとんど乗降がない停留所も存在する。



資料：天理市資料

図 一ちょう号東部線の停留所別乗降者数 (令和4年)

2.5 デマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」

2.5.1 運行状況

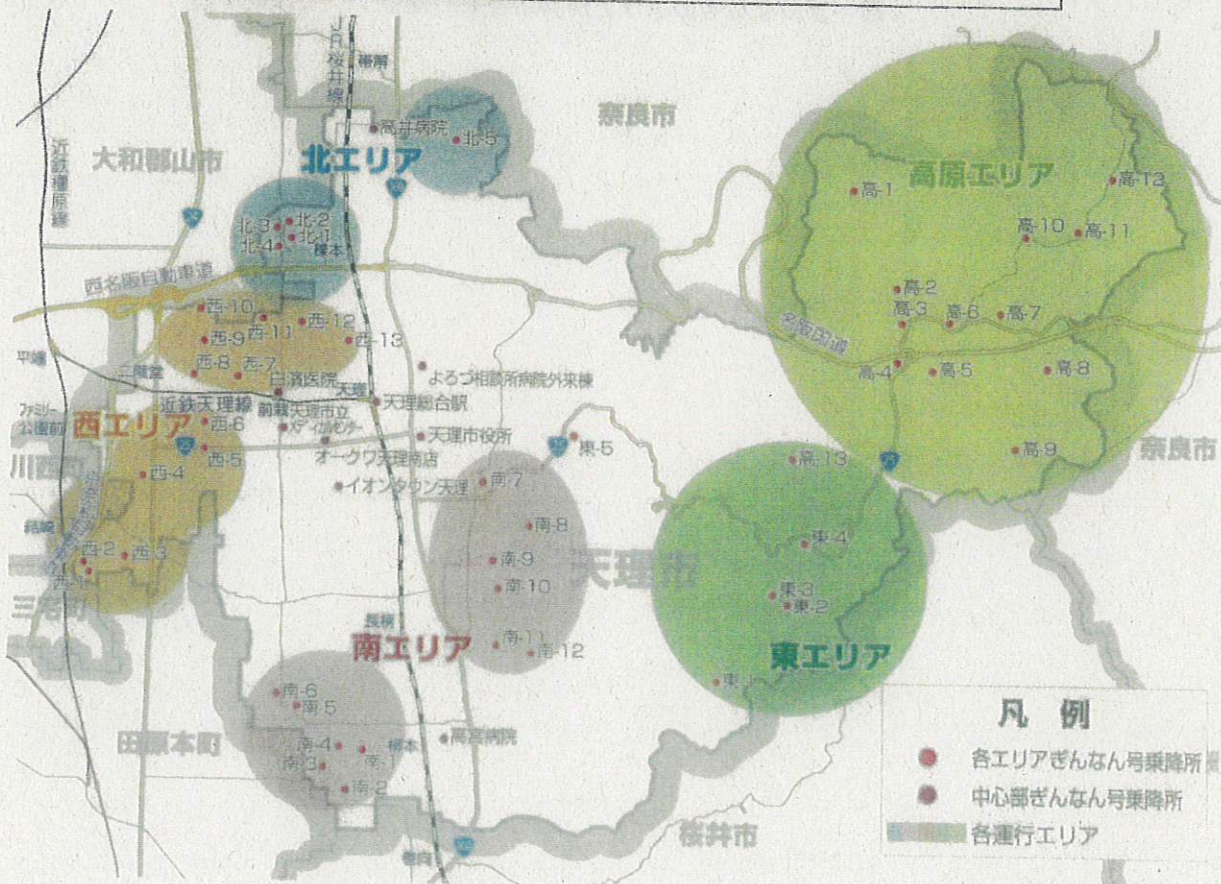
○公共交通の空白地の解消を目的に運行されているデマンド（予約）型乗合タクシーで、市中心部とエリア（東西南北高原）毎にそれぞれ設けられた乗降所の間を運行している。

○各エリア1日6便運行。運賃は一乗車につき300円（但し、高原エリアは500）。平日のみ運行。

○利用するには、事前に利用者登録が必要である。登録者数1,295人（2018年9月）

表 運行概要

運休日	月曜日～金曜日 ※土日祝および12/29～1/3は連休
運賃	一乗車につき300円（高原エリアは500円） ※未就学児は無料 ※障害者と介助人1人は半額
回数券販売	11枚綴3,000円（高原エリアは5,000円） ※タクシー車内及び奈良近鉄タクシー東和営業所で発売
運行本数	6便
車両	セダン型タクシー車両
乗車定員	4名 ※5人以上の予約がある場合は、各エリア1台まで増便
利用方法	・事前の利用登録が必要 ・利用日の1週間前（7日前）から前日の午後5時までに予約 午後便（12時以降）は、2時間前まで予約可能
運行事業者	奈良近鉄タクシー株式会社
その他	市中心部から各エリア行き便は、乗降所付近での降車が可能



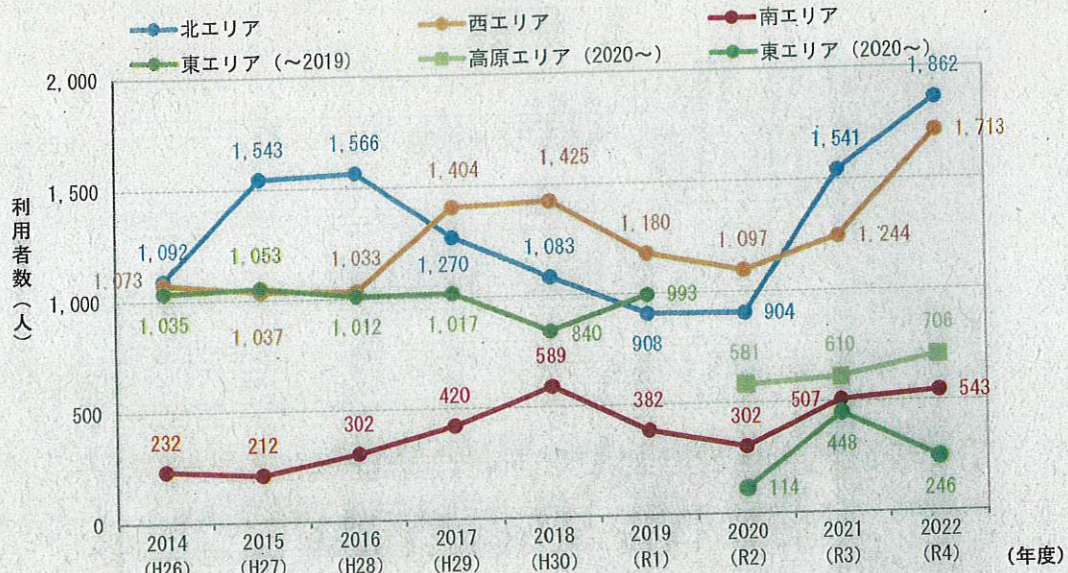
資料：天理市資料

図 ぎんなん号の運行エリアと乗降所

2.5.2 利用状況

■エリア別

○2022年（令和4年）のエリア別利用者数は、北エリアの利用が最も多く、次いで西エリアとなっている。東エリアは、令和2年度から東エリアと高原エリアに分かれたが、両エリアを合わせた利用者数は旧東エリアと横ばいである。



資料：天理市資料

図 ぎんなん号のエリア別利用者数の推移

■便別

- 1便あたり利用者数は西エリアが最も多く(1.7人)、次いで北エリア(1.6人)となっている。
- エリア別に便別利用状況をみると、北エリアの第3便が最も1便あたりの利用者数が多い。

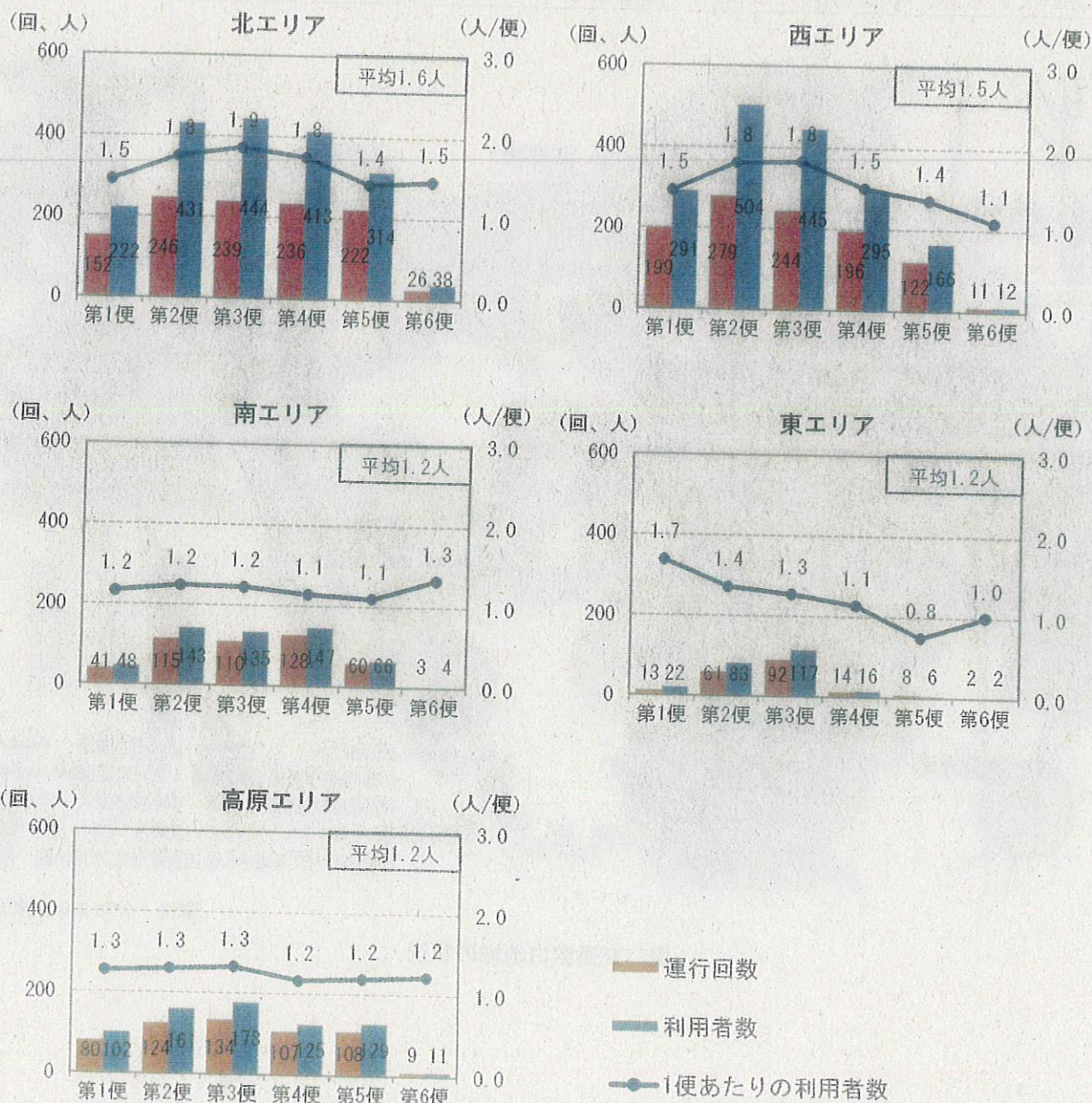
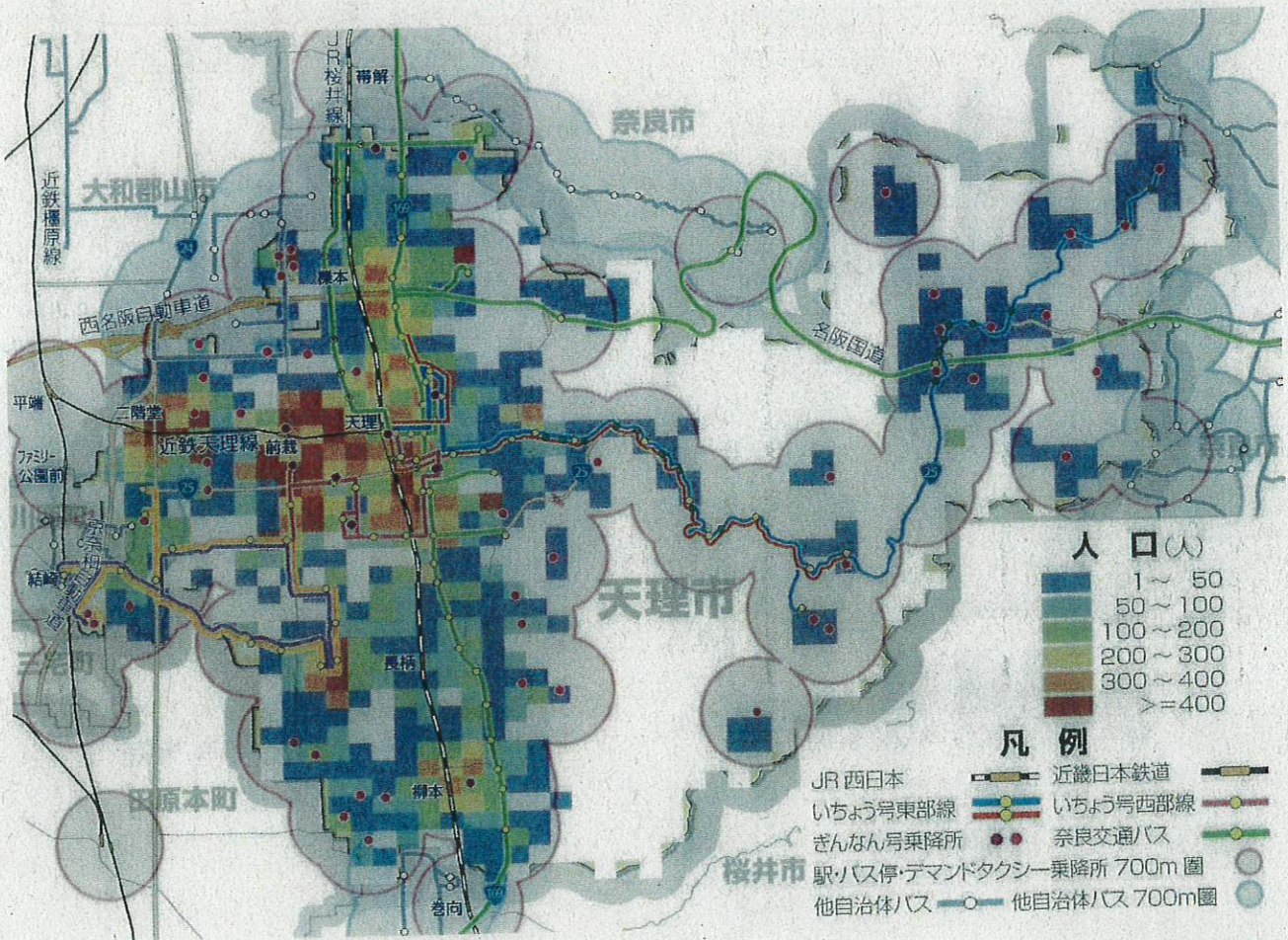


図 ぎんなん号の便別利用者数 (令和4(2022)年度)

2.5.3 ぎんなん号運行後の公共交通空白地域の状況

○天理市では、駅及びバス停の利用圏を700mと位置づけており、「地域公共交通総合連携計画」のもとで実施されたデマンドタクシー「ぎんなん号」の運行等の結果、公共交通空白地はほぼ解消されているが、北部や南部、東部の一部地域でわずかに残っている。



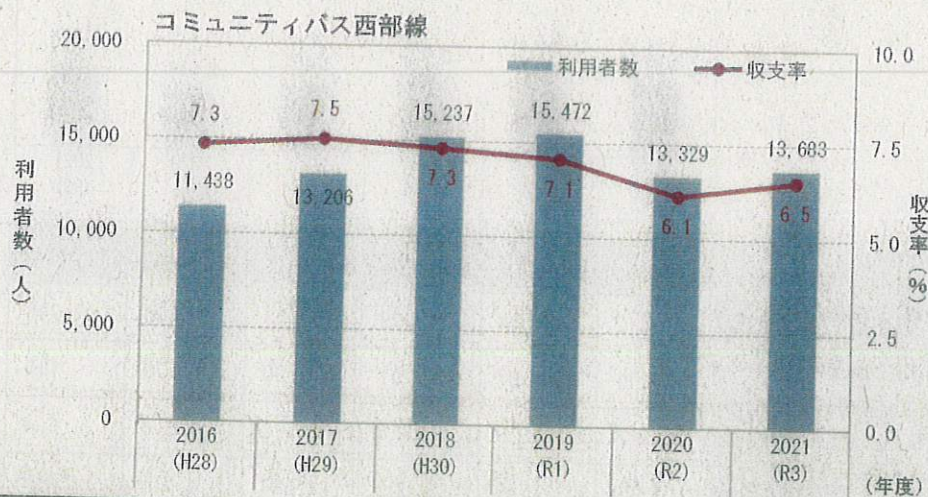
資料：令和2年国勢調査

図 交通空白地域の状況

2.6 コミュニティ交通の収支状況と公共交通関連の市の負担

2.6.1 コミュニティバス「いちょう号」とデマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」の収支状況

- 「いちょう号」西部線は、利用者数が増加傾向にあるものの収支率は低下している。
- 「いちょう号」東部線は、利用者数の増加に伴い収支率が向上している。
- 「ぎんなん号」は、利用者数の低下に伴い収支率も低下していたが、令和3年度は増加傾向にある。



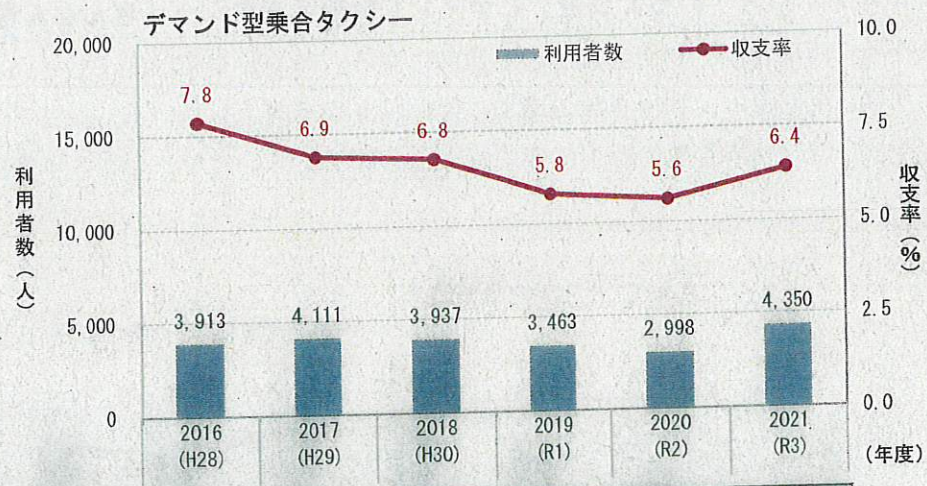
運行経費 (万円)	1,355	1,517	1,692	1,708	1,760	1,766
運賃収入 (万円)	100	114	124	121	108	115
収支率	7.3	7.5	7.3	7.1	6.1	6.5
利用者1人当たりの運行費用 (円)	1,185	1,149	1,111	1,104	1,321	1,291



運行経費 (万円)	1,318	1,377	1,407	1,522	2,855	3,221
運賃収入 (万円)	31	30	44	58	142	225
収支率	2.4	2.2	3.1	3.8	5.0	7.0
利用者1人当たりの運行費用 (円)	6,855	5,974	4,288	3,660	4,377	3,395

図 利用者数および収支率の推移 (コミュニティバス)

資料：天理市資料



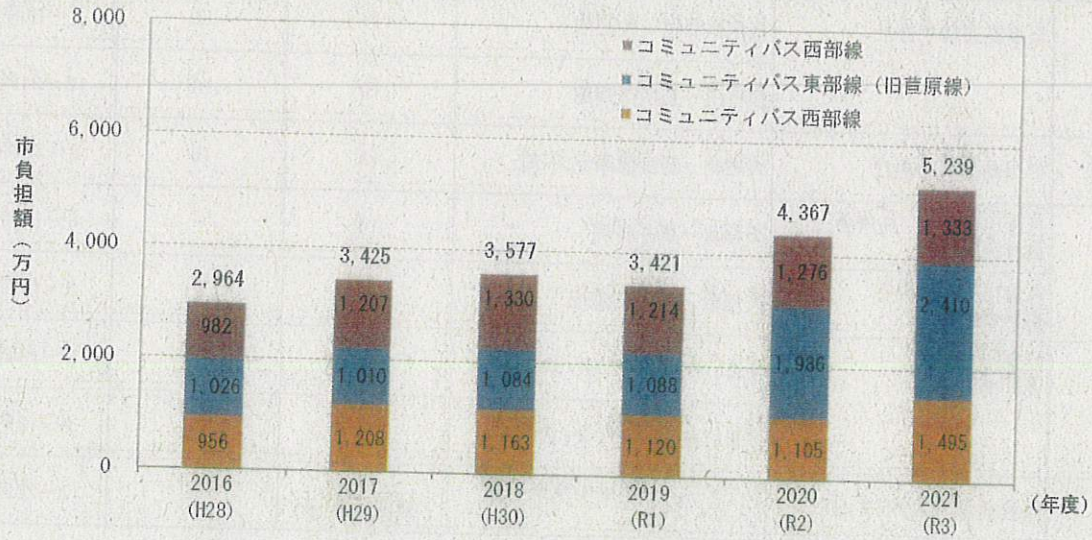
	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
運行経費 (万円)	1,412	1,554	1,499	1,553	1,400	1,746
運賃収入 (万円)	111	107	101	90	78	112
収支率	7.8	6.9	6.8	5.8	5.6	6.4
利用者1人当たりの運行費用 (円)	3,609	3,780	3,807	4,484	4,671	4,015

資料：天理市資料

図 利用者数および収支率の推移 (デマンド型乗合タクシー)

2.6.2 公共交通関連の市の負担

- 公共交通機関の運行に係る補助金や経費等による本市の負担額は、2023年（令和3年）度で5,239万円にのぼる。
- コミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーは、国のフィーダー系統補助金の対象路線である。



資料：天理市資料

図 公共交通に係る市の補助額・負担額の状況

2.7 送迎バス

○天理駅前広場に乗り入れしている送迎バスは6つあり、目的地は病院や福祉施設等、様々である。

表 送迎バスの運行概要

目的地	運行主体	運行ルート・名称	運行本数		運行時間帯
			平日	日曜	
教習所	奈良交通株式会社	長柄体育館→教習所	11	11	8～19時
		教習所→長柄体育館	10	10	12～21時
レジャー施設	平川商事株式会社	天理駅→奈良健康ランド前	15	15	8～22時
病院	社会医療法人 高清会 高井病院	天理駅→高井病院	14	-	8～15時
	医療法人 健和会 奈良東病院	天理駅→奈良東病院	11	2	8～18時
福祉施設	社会福祉法人 大和清寿会	すまいる号1号車(火・木のみ)	3	-	9～13時
		すまいる号2号車(火・木のみ)	3	-	9～13時
ホテル	株式会社アークホテル	グランヴィリオホテル奈良和蔵 シャトルバス	4 (休前日は6本)	5	7～20時